

# Logitec

## 無線 LAN アダプタ ユーザーズマニュアル

### 本マニュアルについて

本マニュアルは、「SkyLink コンサージ (案内人)」機能を使用せずに、無線 LAN アダプタのパソコンへの接続・通信の設定を行う場合の手順と、ドライバのアンインストール方法、本製品の取り外し方法について説明しています。

Windows XP と Windows Me,98,2000 とでは設定方法が異なります。ご使用の OS にあった章をご参照ください。

また、第 3 章では無線 LAN の設定でよく使用する用語の解説と、接続の際の Q&A を掲載しています。

# 目次

はじめに .....	3
第1章 Windows Me、98、2000 編 .....	4
1.1 接続とインストール .....	5
1.2 無線 LAN 通信の設定 .....	8
1.2.1 基本設定 .....	8
1.2.2 詳細設定 .....	14
1.3 「TCP/IP」「Microsoft ネットワーククライアント」の設定 .....	19
1.3.1 Windows Me、98 の場合 .....	19
1.3.2 Windows 2000 の場合 .....	23
1.3.3 TCP/IPを追加する場合は (Windows Me、98のみ).....	27
1.4 本製品を取り外す場合は .....	29
1.4.1 LWN-B11U の取り外し手順 .....	29
1.4.2 LWN-B11P の取り外し手順 .....	30
1.5 ドライバ、ユーティリティのアンインストールについて .....	32
1.5.1 Windows Me、98 の場合 .....	32
1.5.2 Windows 2000 の場合 .....	33
1.6 コンサージ機能のアンインストール (削除) について .....	36
1.7 ドライバのバージョンアップについて .....	37
第2章 Windows XP 編 .....	38
2.1 ドライバをインストールし、基本的な設定を行うまで .....	38
2.2 接続先を変更する方法 .....	42
2.3 無線 LAN 通信の詳細設定について .....	45
2.3.1 ステーションユーティリティの機能について .....	45
2.3.2 無線 LAN 通信の設定の確認 .....	48
2.4 本製品を取り外す場合は .....	55
2.5 アンインストールについて .....	55
2.6 コンサージ機能のアンインストール (削除) について .....	58
2.7 ドライバのバージョンアップについて .....	59
第3章 補足事項 .....	60
3.1 Q&A 集 .....	60
3.2 無線 LAN 用語解説 .....	62
お問い合わせについて .....	70

# はじめに

本製品を接続してご使用の際は必ず以下の手順に従って設定を行ってください。

- ・ ソフトウェアパック CD-ROM をセットする
- ・ ドライバをインストールする
- ・ 本体を接続する
- ・ 無線 LAN の設定・確立
- ・ TCP/IP の設定

Windows XP では、無線 LAN の設定・確立のなかで TCP/IP の設定も行います。

# 第1章 Windows® Me、98、2000 編

ご使用の OS が Windows Me、98、2000 の場合、無線 LAN アダプタの設定方法は共通となります。次ページ以降で説明する手順に沿って必要な設定を行ってください。

## 設定の前に

本製品をパソコンに接続して設定を行うには2つの方法があります。

CD-ROM 内に収録されている「SkyLink コンサージ」を使用する。

このソフトウェアを使用すると、パソコンの画面に設定に必要な機能を案内する魔法使いのマーリンというキャラクタが登場し、設定が終了するまでの手順を案内します。この設定の手順を案内するソフトウェアを「SkyLink コンサージ」と呼んでいます。「SkyLink コンサージ」を利用される場合は、CD-ROM をセットして最初に立ち上がる「セットアップ」画面から「標準」ボタンを選択し「インストール開始」ボタンを押してください。後は画面に表示されるメッセージに従って設定を行います。設定終了までは本マニュアルを参照する必要はありません。

このマニュアルを参照して設定をする。

このマニュアルでは、「SkyLink コンサージ」機能をインストールせずに設定する手順を説明します。詳しくは次ページ以降をご参照ください。



## CD-ROM 起動画面

ここからインストールするタイプを選びます。

## 1.1 接続とインストール

本節では無線LANアダプタのドライバをインストールしてパソコンに接続するまでの手順を説明します。ドライバのインストールは無線LANアダプタが接続されていない状態で行います。

1

CD-ROMをセットして最初に立ち上がる「セットアップ」画面から「最小」インストールを選択してください。

1. 「最小」を選択し



2. インストール開始」ボタンをクリック

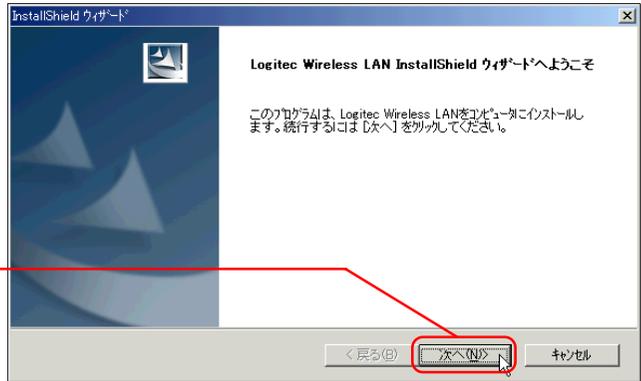


### ポイント

- ・セットアップを行わずに「終了」した場合、再度「セットアップ」画面を起動するには「マイコンピュータ」から「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き「Skylinksetup」と表示されたアイコンをダブルクリックしてください。上の画面が表示されます。
- ・セットアップの種類については付属の「無線 LAN アダプタ スタートアップガイド」（冊子形式で付属されているもの）内の「2.1 ソフトウェアパック CD-ROM の使用」をご参照ください。
- ・Windows 2000 でインストールを行うには管理者権限をもつグループ（例えば「Administrator」グループ等）のメンバーとしてログオンしている必要があります。

2

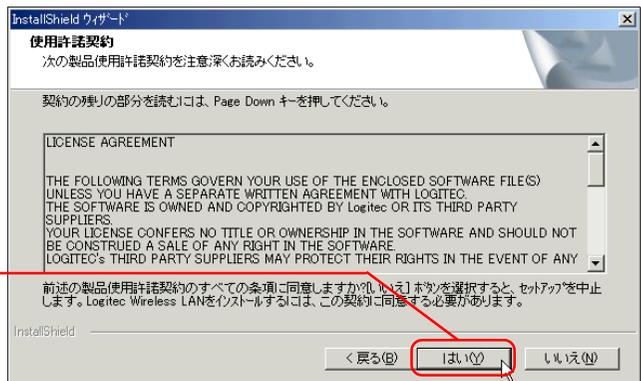
インストールウィザードが起動し、下の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



「次へ」ボタンをクリック

3

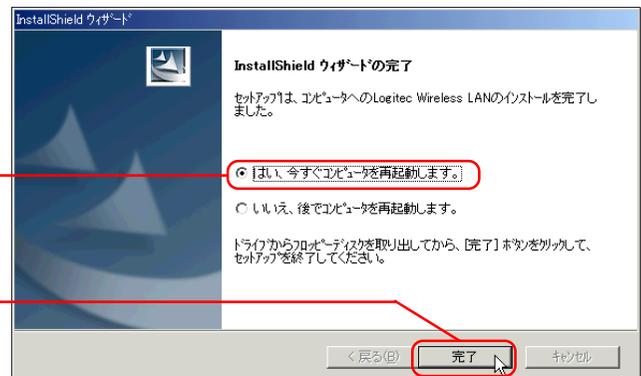
「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認して同意する場合は「はい」ボタンをクリックします。(ここで「いいえ」ボタンをクリックするとインストールが中止されます。)



内容を確認して同意する場合は  
「はい」ボタンをクリック

4

必要なファイルがシステムに転送され終了すると右の画面が表示されます。



1. 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のラジオボタンが「ON ( )」になっていることを確認して、

2. 「完了」ボタンをクリック

5

コンピュータが再起動したら無線LANアダプタをパソコンに接続してください。自動的に認識され使用可能な状態になります。以上で無線LANアダプタの接続とインストールは終了です。

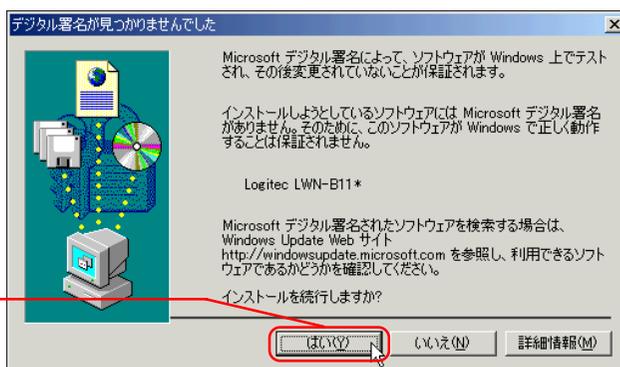
次に無線LAN通信の設定を行います。「1.2 無線LAN通信の設定」へお進みください。



#### ご注意

Windows 2000 ではコンピュータ再起動後、USB無線LANアダプタをパソコンに接続すると以下のメッセージが表示されます。

「はい」をクリック



本製品用のドライバは「MicroSoftデジタル署名」を取得しておりませんので、このウィンドウが表示されますが、弊社では本ドライバの十分なテストを行い、Windows 2000上で正常に動作することを確認してご提供しております。そのまま、「はい」をクリックしてください。

また、画面に表示されているLWN-B11\*の「\*」は、LWN-B11Uの場合は「U」が、LWN-B11Pの場合には「P」が入ります。

## 1.2 無線 LAN 通信の設定

接続が終了したら、本製品を使用して無線 LAN 通信の設定を行います。設定にはドライバのインストール時に同時にインストールされた無線 LAN 通信設定ソフト「ステーションユーティリティ」を使用して行います。

### 1.2.1 基本設定

ここでは、無線通信を行うまでに最低限必要となる設定の手順についてご説明します。

1

インストール終了後、本製品をパソコンに接続すると、画面右下にあるタスクバーのシステムトレイに、以下のようなアイコンが表示されますので、このアイコンをダブルクリックしてください。



このアイコンをダブルクリック

このアイコンは電波状態により以下のように変化します。

	電波状態：かなり強い、強い (51%~100%)
	電波状態：弱い (26%~50%)
	電波状態：かなり弱い、(0%~25%)、AP未検出
	電波状態：WEP設定ミス
	電波状態：無線停止

・ユーティリティアイコンは電波状況により上記5点がタスクバー内に表示されます。



2

ステーションユーティリティのステータス画面が表示されます。ここから、「設定」タブをクリックしてください。

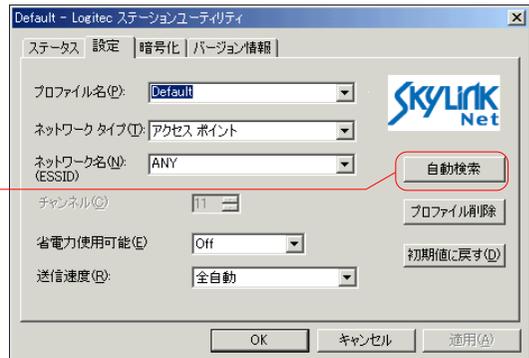
「設定」タブをクリック



3

「設定」画面に切り替わりますので、「自動検索」ボタンをクリックしてください。

「自動検索」をクリック



Point

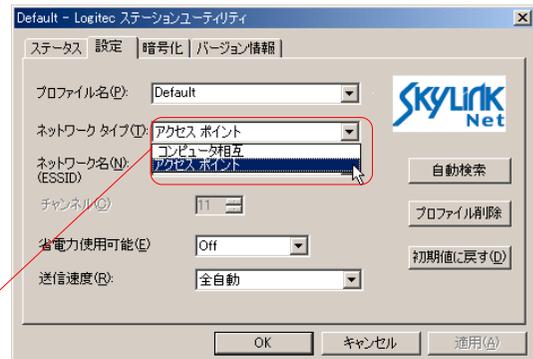
ポイント

自動検索を行わないで、直接アクセスポイントまたはステーションを指定する場合は以下の手順で行います。(ステーションユーティリティのネットワーク名は初期値では「ANY」に設定されていますが、アクセスポイントによっては「ANY」を拒否する機能を持っているものもあります。そのような場合は、自動検索ではなく直接指定する必要があります。)

「ネットワークタイプ」より

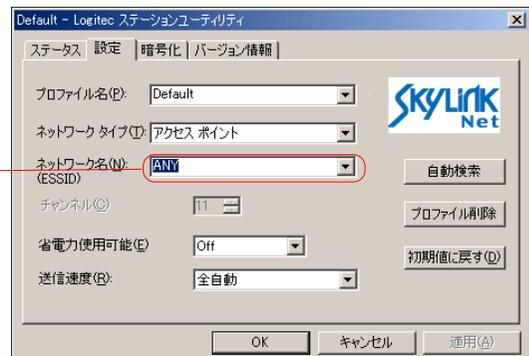
- ・「コンピュータ相互 (アドホックモード)」もしくは、
  - ・「アクセスポイント (インフラストラクチャモード)」どちらかを選択します。
- コンピュータ相互、アクセスポイント)については「第3章 3.2 無線LAN用語解説」をご参照ください。

このドロップダウンリストから選択します。



「ネットワーク名」(ESS ID)を直接入力します。英数字で大文字小文字を区別して入力してください。本製品では最大で32文字まで入力することができます。(ESS IDは、設定をした人にお問い合わせください。ANY拒否の設定の場合は、設定した人しかこのIDは分かりません。) ESS IDについては「第3章 3.2 無線LAN用語解説」をご参照ください。

ここに指定するネットワークのESS IDを設定します。

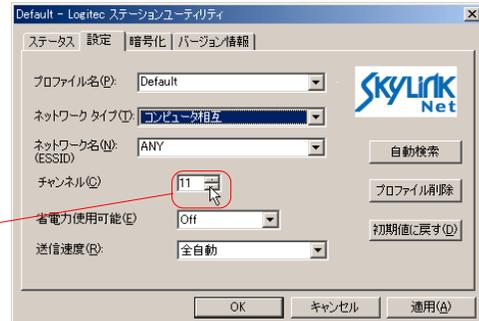




## ポイント (続き)

ネットワークタイプを「コンピュータ相互」(802.11アドホックモード)にした場合はチャンネル(「第3章 無線LAN用語解説」を参照)設定を行います。

ここでチャンネルを設定します。



以上で設定は終了です。この後は手順 以降を参照に暗号化の設定等を行ってください。

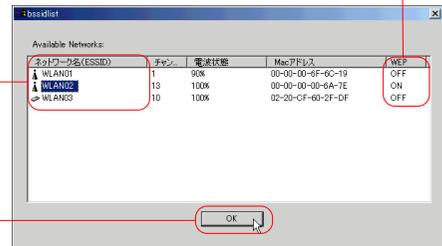
## 4

通信が可能なネットワークのリストが表示されます。通信するネットワークの「WEP」(暗号化)が「ON」か「OFF」かを確認してください。

1. 「WEP」の設定を確認します。

2. 「ネットワーク名」の一覧から通信するネットワークを選択します。

3. 「OK」ボタンをクリックします。



## ポイント

「WEP」(暗号化)は、手順 で設定を行います。必ず設定を確認してください。

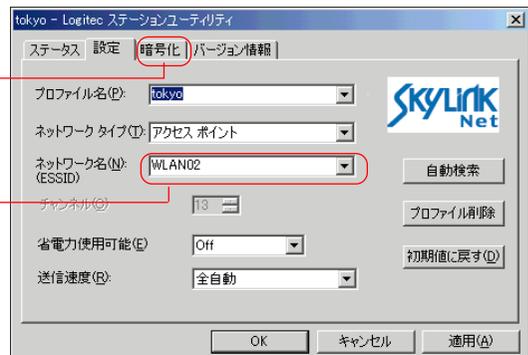
「WEP」(暗号化)については「第3章 無線LAN用語解説」をご参照ください。

## 5

「設定」画面に戻ります。ネットワーク名に手順 で選択したネットワーク名が登録されているのを確認して、「暗号化」タブをクリックします。

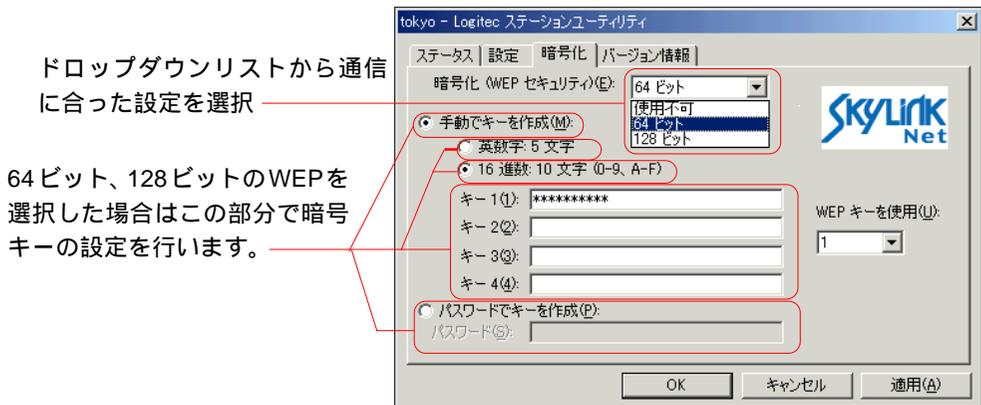
2. 「暗号化」タブをクリック

1. ネットワーク名が選択したものであることを確認し、



6

「暗号化」の画面が表示されます。「暗号化 (WEP セキュリティ)」の横のドロップダウンリストから「使用不可」「64 ビット」「128 ビット」のいずれかを選択します。この選択は通信先のネットワーク機器の設定と同じでなければいけません。(通信先の機器の設定が40 ビットの場合は64 ビットを、104 ビットの場合は128 ビットを選択します。)



通信するネットワークの「WEP」が「OFF」の場合：

「使用不可」を選択してください。

通信するネットワークの「WEP」が「ON」の場合：

ネットワークのWEP設定が64ビット(お使いのアクセスポイント、無線LANアダプタによっては40ビットと表記されています)か、128ビットどちらであるかを確認して、以下の3つの方法からどれかを選び暗号キーを作成します。(キーの入力方法については次ページをご参照ください。)

「手動でキーを作成」英数字：\*\*文字

「手動でキーを作成」16進数：\*\*文字(0-9、A-F)

「パスワードでキーを作成」



どの方法でキーを作成するかは接続先のネットワーク機器のWEP設定によります。アクセス先のネットワーク機器の管理者にあらかじめWEP設定を確認しておいてください。



参考

・「英数字」や「パスワード」でキーを作成した場合、「ステーションユーティリティ」側で英数字を16進数に変換し接続先に暗号キーを送ります。この16進数の生成アルゴリズムがメーカーにより異なる場合がありますので、「英数字」または「パスワード」を入力しても通信を確立できない場合は、接続先のネットワーク機器のWEP設定の確認を「英数字」「パスワード」ではなく「16進数」で行ってください。

・キーは接続先の機器1台につき「1」から「4」の4つまで設定できます。

「手動でキーを作成」を選択した場合

「英数字：\*\*文字」、「16進数：\*\*文字(0-9、A-F)」どちらかを選択します。

「英数字：\*\*文字」を選択した場合

- ・64ビットの暗号キーを設定するには半角英数文字を**5文字**入力します。  
例：「ABCde」
- ・128ビットの暗号キーを設定するには、半角英数文字を**13文字**入力を入力します。  
例：「abcdeFGHKLmNR」



ポイント

- ・文字入力は半角英数字を入力してください。入力文字は大文字小文字の区別をします。  
例えば「A」と「a」は別の文字として認識しますのでご注意ください。
- ・英数字で入力した場合、通信先の暗号キーと同じ文字列であっても通信が確立できない場合があります。その場合は16進数で暗号キーを作成してください。

「16進数：\*\*文字(0-9、A-F)」を選択した場合

- ・64ビットの暗号キーを設定するには、**10文字**の16進数を入力します。128ビットの暗号キーを設定するには、**26文字**の16進数を入力します。  
「ネットワークタイプ」が「アクセスポイント」(インフラストラクチャモード)でご利用の場合は、本製品とアクセスポイントは同じ値に設定してください。
- 「ネットワークタイプ」が「コンピュータ相互」(802.11アドホックモード)の場合は、本製品と通信先のステーションと同じ暗号キーを設定してください。



ご注意

暗号キーは間違いなく入力してください。異なった暗号キーを入力すると通信を確立できません。

16進数で使用できる文字は半角の「0」から「9」アルファベットで「A」から「F」までです。(大文字小文字は区別しません。)

「パスワードでキーを作成」を選択した場合

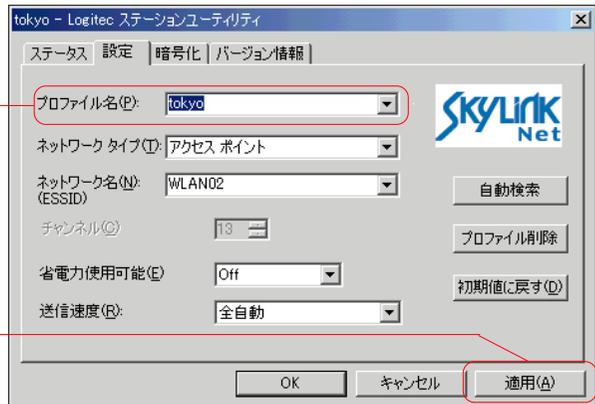
このオプションは16進数生成アルゴリズム「RC4」を使用しています。31文字以内の半角英数字で入力してください。

7

再び「設定」画面に戻ります。「プロファイル名」の横のテキストボックスにお好みのプロファイル名をつけて「適用」ボタンを押すと、これまでに行った設定が保存されます。次回以降は起動時にプロファイル名の名前を選ぶだけで設定を行った無線LAN環境内にアクセスすることができます。

1.ここに名前を入力して、

2.「適用」ボタンをクリック



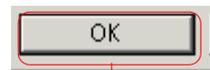
「プロファイル」について

「プロファイル」とは通信に必要な設定をひとまとめにして管理するもので、一度設定・登録すると、次回以降はプロファイル名を指定するだけで、その設定内容有効にすることができる便利な機能です。

例えば自宅で無線接続する際のプロファイル名と、会社で無線接続する際のプロファイル名を別々に作成し、環境に合わせて設定を使い分けることができます。

8

以上で基本的な設定は終了です。「OK」ボタンをクリックするとステーションユーティリティの設定画面が消えます。次の「詳細設定」ではステーションユーティリティの各画面内の機能を詳しく説明します。



クリック

「詳細設定」を行わずに通信を行う場合は『1.3 「TCP/IP」「Microsoft ネットワーククライアント」の設定』へお進みください。

## 1.2.2 詳細設定

## 「ステータス」画面

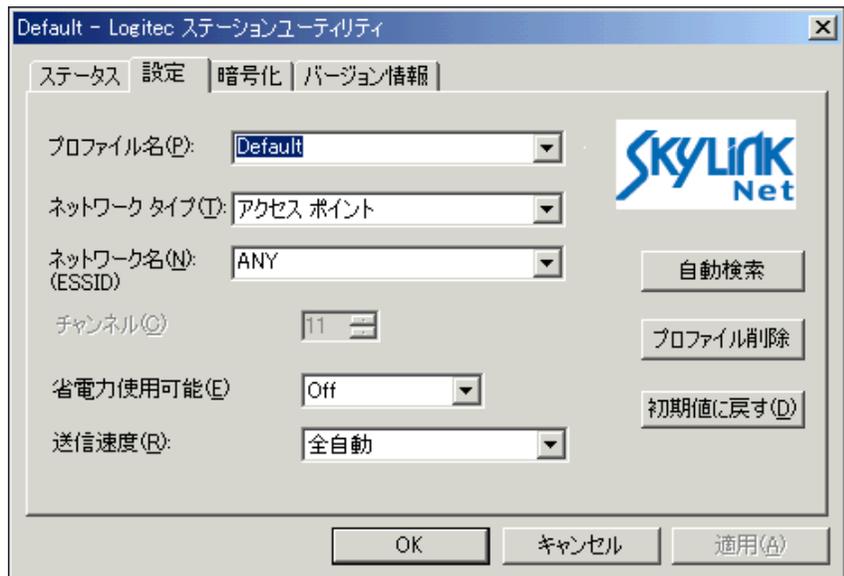


- 状態** : 現在リンクされている無線LANのMACアドレスを表示します。ここにMACアドレスが表示されていると、「暗号化」画面と「設定」画面で必要な設定を行って無線通信を行うことができます。
- 現在の送信速度** : 現在選択されている送信速度を表示します。全自動の場合は、電波状態により自動的に1、2、5.5、11メガビット/秒が選択・表示されます。
- 現在のチャンネル** : 現在リンクされている無線LANの使用チャンネルを表示します。チャンネルは1～14チャンネルの中から選択されます。(設定画面の「チャンネル」もご参照ください。)
- スループット (バイト/秒)** : 「Tx」現在の送信データ量を表示します。「Rx」現在の受信データ量を表示します。共に1秒間隔で切り替わります。
- リンククオリティ** : ノイズを考慮にいれた無線LANの電波環境の状態を指します。コンピュータ相互で接続されている場合は「非適応」と表示されません。
- 信号強度** : 無線LANに使われている電波のデータ信号の強さを示します。ノイズを考慮にいれてはなりません。コンピュータ相互で接続されている場合は「非適応」と表示されます。

「再検索」ボタン：無線開始しているにも関わらず、電波がリンクされなくなった場合にこのボタンをクリックします。再検索してもリンクされない場合は、近くにアクセスポイント又はステーションが存在していない可能性があります。

「無線停止」ボタン：電波の送信を停止する場合や再開する場合に使用します。送信が行われている場合は、「無線停止」ボタンが表示されます。送信が行われていない場合は「無線開始」ボタンに切り替わります。

### 「設定」画面



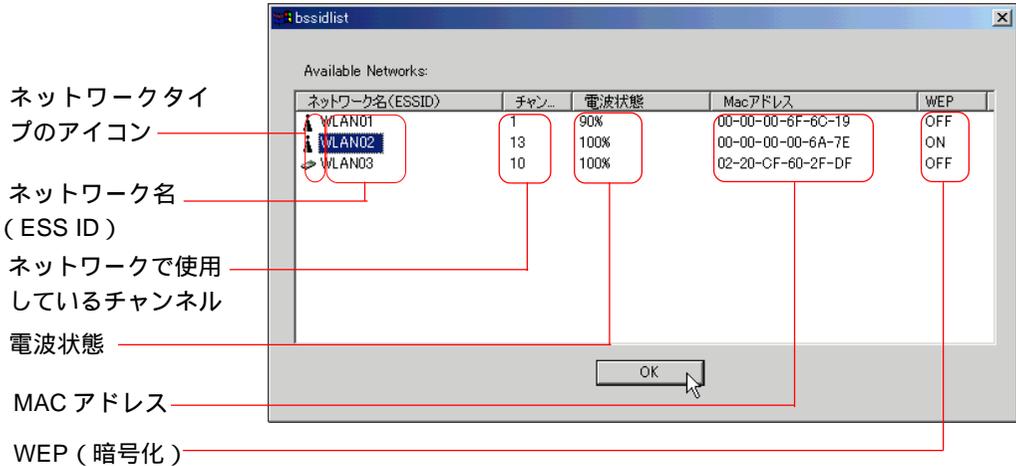
プロフィール名：各種の設定を行った後、横のテキストボックスに、プロフィール名をつけて設定を保存しておく、次回起動時にプロフィール名を選択して「OK」ボタンを押すだけで同じネットワークにログインすることができます。

保存したプロフィール名は右側の「」ボタンをクリックして表示されるドロップダウンリストから選択できます。

ネットワークタイプ：「アクセスポイント」(インフラストラクチャーモード)と「コンピュータ相互」(802.11アドホックモード)を選択できます。デフォルトでは「アクセスポイント」が選択されています。

- ネットワーク名 (ESS ID)** : ネットワーク名 (ESS ID) を入力します。「自動検索」を行い、使用可能なネットワークの一覧から「ネットワーク名」を選択すると、自動的に選択されたネットワーク名が登録されます。間違ったネットワーク名を入力すると通信が行えません。また、自動検索を行った後は使用可能なネットワークが右側のドロップダウンリストから選択できます。(右側の「 」ボタンをクリックして表示させます。)工場出荷時は「ANY」が選択されています。手動で入力する場合は半角英数字、最大32文字まで入力できます。大文字、小文字は区別されます。
- チャンネル** : ネットワークタイプが「コンピュータ相互」の場合に1~14チャンネルの中から選ぶことができます。  
ネットワークタイプが「アクセスポイント」の時は、アクセスポイント側でチャンネルの設定を行います。この場合は灰色に表示され設定を変えることができません。
- 省電力使用機能** : 「On」、「Off」、「Auto」から選択できます。  
Off (初期値) : パワーセーブは行いません。  
On : パワーセーブを行います。  
Auto : 状態によりOffにしたり、Onにしたりを切り替えます。  
パワーセーブとは?  
無線で通信していない場合は自動的に休止状態になり、通信を行うと動作を再開します。ノートパソコンでバッテリー駆動している場合、あるいは時々しか通信をしない場合に有効です。
- 送信速度** : 通信速度を「11Mb」、「5.5Mb」、「自動1または2Mb」の中から選択できます。電波状態が良い場合は、固定で使用してもかまいませんが、電波状態が変化しやすい場所でのご使用の場合は、「全自動」設定を推奨いたします。  
工場出荷時は「全自動」が選択されています。
- 「自動検索」ボタン** : このボタンをクリックすると、電波の届く範囲内の通信可能なアクセスポイント及び、ステーション(無線LANアダプタを装備したパソコンや周辺機器)の一覧画面が表示されます。詳しくはこの後に説明する「通信可能なネットワークリスト」をご参照ください。
- 「プロファイル削除」ボタン** : 登録したプロファイルを削除する場合にこのボタンをクリックしてください。現在表示されているプロファイルが削除されます。ただし、最初から登録されている「Default」は削除できません。
- 「初期値に戻す」ボタン** : このボタンはプロファイル名が「Default」の設定を初期値に戻す場合のみご使用願います。

## 通信可能なネットワークリスト



「設定」画面で「自動検索」ボタンをクリックすると、上の図のように電波の届く範囲内の通信可能な機器の一覧が表示されます。

ここで通信を行う機器を選択し「OK」ボタンを押すと、「設定」画面に戻ります。「設定」画面では「ネットワーク名」の所に選択した機器の「ネットワーク名 (ESS ID)」が登録されています。

ここで表示される項目はそれぞれ以下の意味を持っています。

## ネットワークタイプのアイコン

接続可能な機器がアクセスポイントか、ステーション（無線LANアダプタや無線通信機能を持つ周辺機器）かがネットワーク名の左側にアイコンで表示されます。

アクセスポイントのアイコン



ステーションのアイコン



## ネットワーク名 (ESS ID)

無線LANのアクセスポイントとアダプタが通信するときを使う識別記号（ネットワーク名）。同じ記号を設定した装置同士だけが通信できます。

## チャンネル

表示されているネットワーク機器が使用しているチャンネルを表示します。

## 電波状態

表示されているネットワーク機器の電波の状態を表示します。

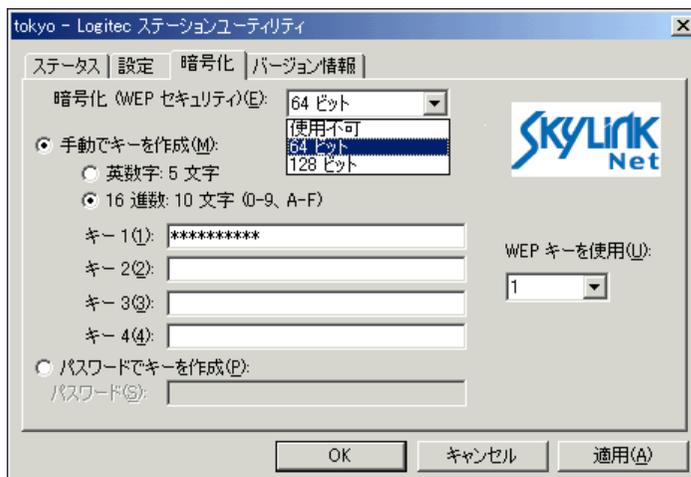
## MAC アドレス

表示されているネットワーク機器に割り当てられている固有の番号が表示されます。12文字の英数字で表されます。例。00:01:8E:88:51:F3

## WEP (暗号化)

表示されているネットワーク機器が暗号化を行っているかを表示します。

## 「暗号化」画面



この画面から暗号化の設定を行います。

「暗号化 (WEP セキュリティ)」の横のプルダウンメニューから「使用不可」、「64 ビット」、「128 ビット」のいずれかを選択します。この選択は通信先のネットワーク機器の設定と同じでなければいけません。詳しくは「1.2.1 基本設定」の手順をご参照ください。

## 「バージョン情報」画面



現在のネットワークドライバ、設定ユーティリティ (ステーションユーティリティ) 及び製品本体のファームウェアの各バージョンを表示します。

## 1.3 「TCP/IP」「Microsoft ネットワーククライアント」の設定

通信の設定が終了したら最後にネットワークに参加するための設定を確認します。

### 1.3.1 Windows Me、98 の場合

1

「スタート」ボタンから「設定」を選択し「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」が表示されたら一覧の中から「ネットワーク」を選択してください。

2

「ネットワークの設定」画面が表示されます。ここでは以下の3点を確認します。

「現在のコンポーネント」のリストに以下の項目が登録されていること。

「Microsoft ネットワーククライアント」

「TCP/IP -> Logitech LWN-B11U」(注：複数のドライバがインストールされている場合。)

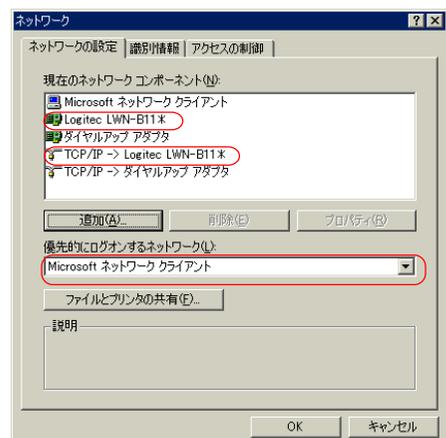
「TCP/IP」(本製品のドライバのみインストールされている場合。)

「優先的にログオンするネットワーク」に以下の項目が選択されていること。

「Microsoft ネットワーククライアント」



本製品のドライバのみインストールされている場合



複数のドライバがインストールされている場合



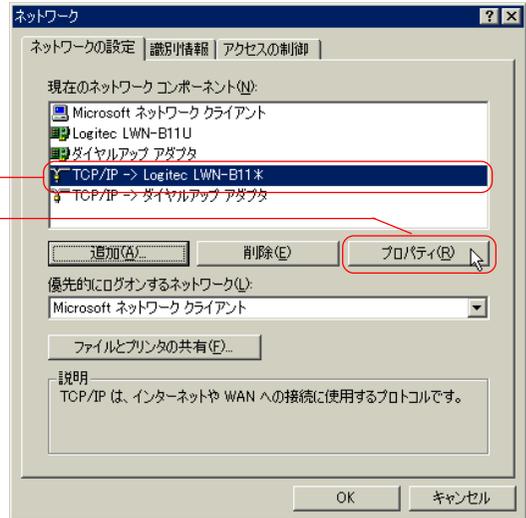
#### ご注意

- ・画面に表示されている LWN-B11\* の「\*」は、LWN-B11U の場合は「U」が、LWN-B11P の場合には「P」が入ります。(これ以降の画面も全て同様です。)
- ・ここで「TCP/IP -> Logitech LWN-B11\*」(または「TCP/IP」)が表示されていない場合は「1.3.3 TCP/IP を追加する場合は」をご参照ください。

3

確認ができれば、「TCP/IP -> Logitech LWN-B11\*」(またはTCP/IP)をクリックして選択状態にしてから「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

- 1.この部分をクリックして
- 2.「プロパティ」ボタンをクリック



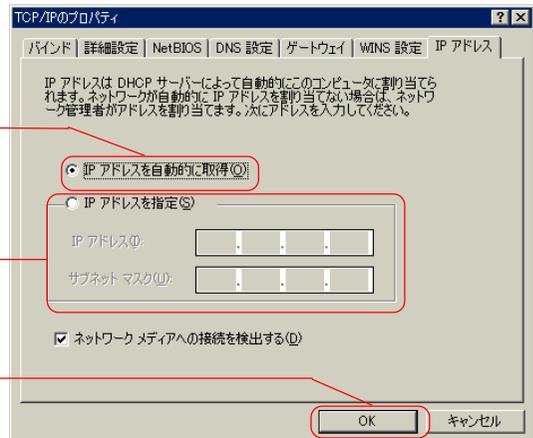
4

「TCP/IPのプロパティ」画面が表示されます。「IPアドレス」タブをクリックしてください。ここでネットワークにDHCPサーバ(第3章 無線LAN用語解説を参照)があるときは「IPアドレスを自動的に取得」のラジオボタンを「ON( )」にして「OK」ボタンをクリックしてください。

- 1.DHCPサーバがある場合はこのラジオボタンをONにして、

注)DHCPサーバがない場合はここにIPアドレスを入力します。

- 2.「OK」ボタンをクリック



#### ご注意

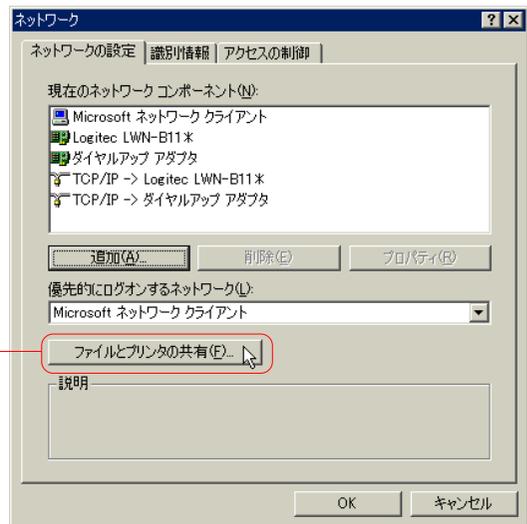
DHCPサーバがない場合は、接続先の機器のマニュアルを参照して、必要な設定を行ってください。システム管理者がいる場合はシステム管理者にお問い合わせください。ここでの設定は接続先の機器、ネットワーク内の環境により異なります。

5

「ネットワークの設定」画面に戻ります。次にファイルとプリンタの共有設定を行います。ただし、この設定を行わなくても通信は可能です。ご自身のパソコン環境を共有設定にしたい場合のみ追加してください。

設定を行わない場合は手順 へお進みください。

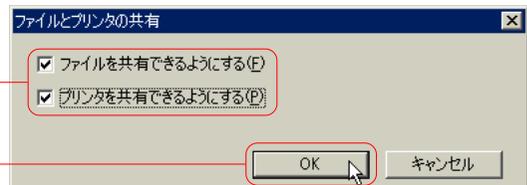
このボタンをクリック



6

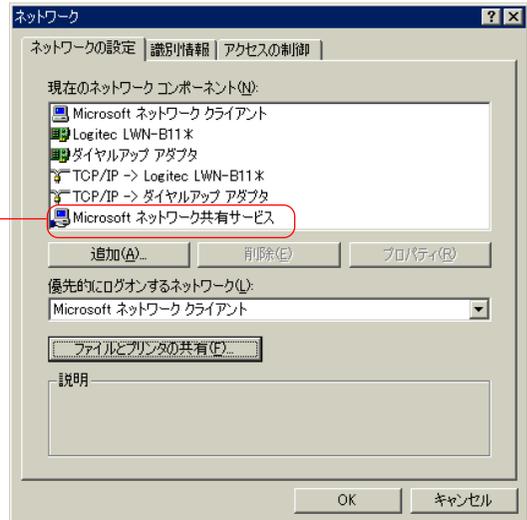
「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。共有する項目にチェックを入れて、「OK」ボタンをクリックします。

1. 共有する項目に  
チェックを入れて
2. 「OK」ボタンを  
クリック



7

「Microsoft ネットワーク共有サービス」  
が追加されます。



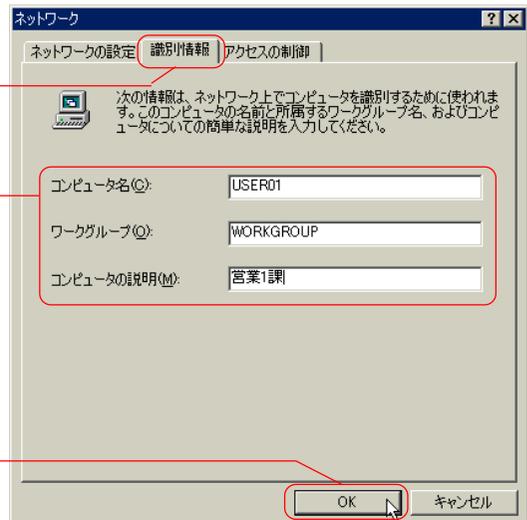
8

最後に「識別情報」を確認します。識別情報タブをクリックしてください。

1. 「識別情報」タブをクリック

2. この項目を確認して、変更の必要  
がある場合は情報を入力します。

3. 確認が終了したら「OK」  
ボタンをクリック



「コンピュータ名」:

ネットワーク環境内で他のコンピュータからこのコンピュータを参照した場合に表示される名前です。同じ環境内に同じ名前のコンピュータがないように設定します。

「ワークグループ名」:

通常ネットワーク環境内の機器全てに同じグループ名をつけます。

「コンピュータの説明」:

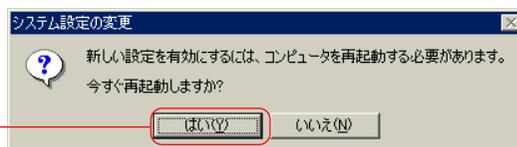
ここに説明を入れておくと、ネットワーク上で他のコンピュータからこのコンピュータを参照したときに登録した説明が表示されます。

「コンピュータ名」「ワークグループ名」は必ず入力してください。また入力の際は半角英数字をご使用ください。入力の仕方がわからない場合はネットワークの管理者にご相談ください。

9

「ネットワーク設定の更新」が行われ、コンピュータを再起動するメッセージが表示されます。

「はい」をクリック



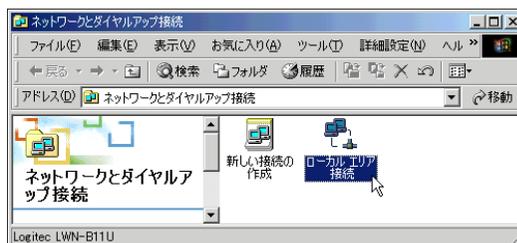
10

コンピュータが再起動されます。再起動後、通信が可能となります。以上で設定は終了です。

### 1.3.2 Windows 2000 の場合

1

「スタート」ボタンの「設定」より「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックすると右の画面が表示されます。

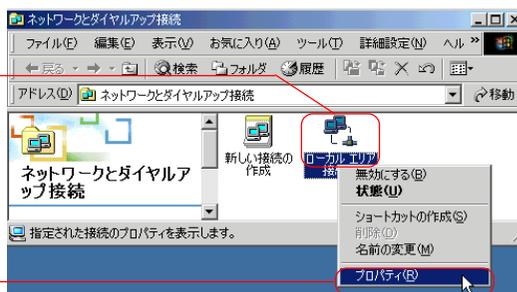


2

ここで本製品を接続する「ローカルエリア接続」を選択して右クリックし、表示されるドロップダウンリストから「プロパティ」をクリックします。

1. 接続する「ローカルエリア接続」を  
右クリックして、

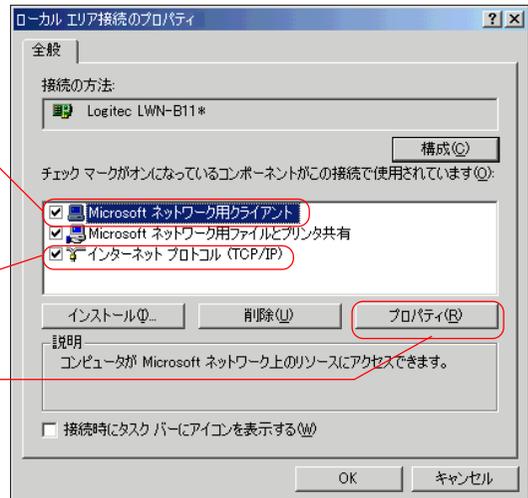
2. 「プロパティ」をクリック



3

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。ここでチェックマークがオンになっているコンポーネントのリストに「Microsoft ネットワーク用クライアント」と「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が登録されていることを確認し、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックして選択状態にしてから「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

1. 「Microsoft ネットワーク用クライアント」を確認
2. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックして選択状態にして、
3. 「プロパティ」ボタンをクリック



#### ご注意

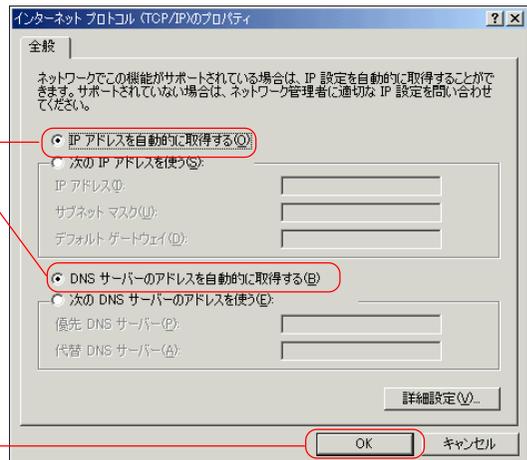
画面に表示されているLWN-B11\*の「\*」は、LWN-B11Uの場合は「U」が、LWN-B11Pの場合には「P」が入ります。

4

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。ここでネットワークにDHCPサーバがあるときは「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバのアドレスを自動取得する」のラジオボタンを「ON ( )」にして「OK」ボタンをクリックしてください。

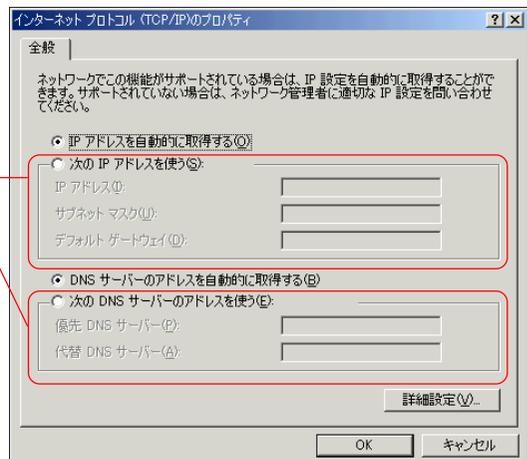
1. DHCPサーバがある場合はこの2つのラジオボタンをONにして、

2. 「OK」ボタンをクリック



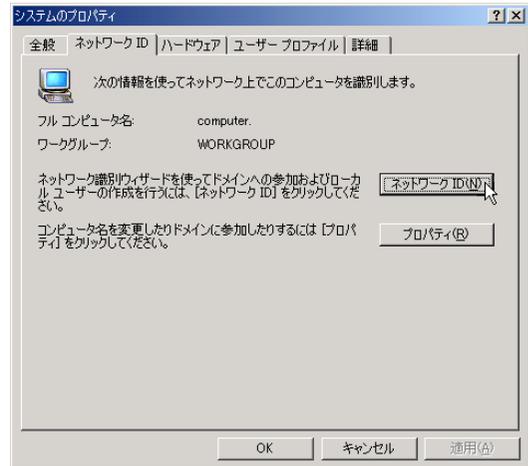
DHCPサーバ (第3章 無線LAN用語解説を参照) がない場合は、接続先の機器のマニュアルを参照して、手で「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」およびDNSサーバのアドレスを入力してください。ネットワーク管理者がいる場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。ここでの設定は接続先の機器、ネットワーク内の環境により異なります。

DHCPサーバがない場合はここに必要な情報を入力



5

最後に「ネットワーク ID」を設定します。「コントロールパネル」から「システム」を選択しダブルクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ネットワーク ID」のタブをクリックし、「ネットワーク ID」ボタンをクリックします。



6

ウィザードが起動しますので画面の指示に従って ID を設定してください。ウィザード内で入力する「コンピュータ名」はネットワーク環境内で他のコンピュータからこのコンピュータを参照した場合に表示される名前です。同じ環境内に同じ名前のコンピュータがないように設定します。また、入力する文字は半角英数字をご使用ください。

7

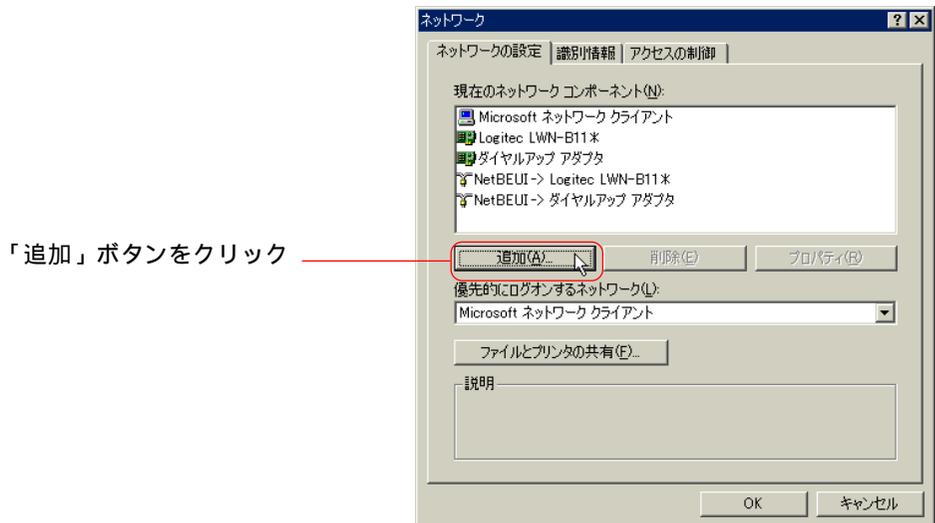
入力の仕方がわからない場合はネットワークの管理者にご相談ください。入力が終わったら「OK」ボタンを押して終了です。

### 1.3.3 TCP/IPを追加する場合は（Windows Me、98のみ）

TCP/IPが表示されない場合は以下の手順でTCP/IPを追加してください。（ここで使用する画像はWindows Meのもので、選択する項目はWindows 98でも全く同じです。）

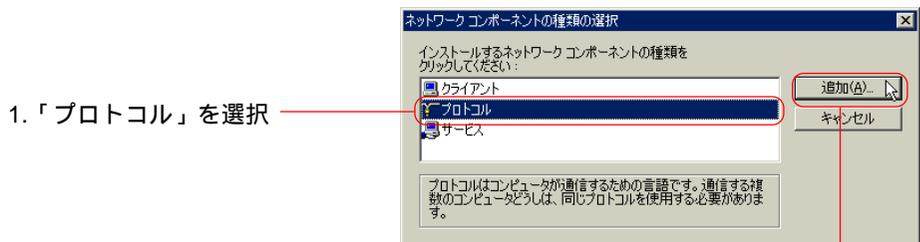
1

「コントロールパネル」「ネットワーク」から、「ネットワークの設定」画面を表示させます。画面が表示されたら「追加」ボタンをクリックします。



2

「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されるので、「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



2. 「追加」ボタンをクリック

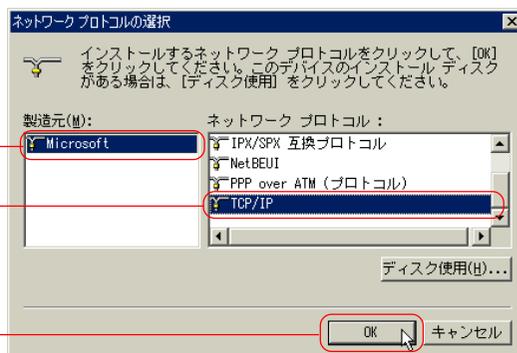
3

「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。ここで「製造元」に「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」に「TCP/IP」を選択し「OK」ボタンをクリックします。

1. 「Microsoft」を選択

2. 「TCP/IP」を選択

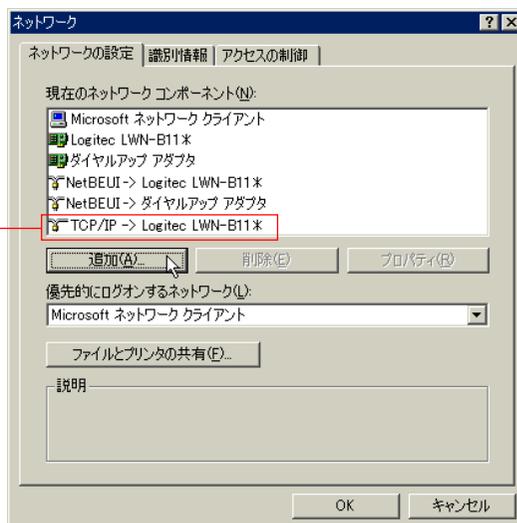
3. 「OK」をクリック



4

「ネットワークの設定」画面に戻りますので、「TCP/IP -> Logitech LWN-B11U」(または「TCP/IP」)が登録されていることを確認してください。

「TCP/IP -> Logitech LWN-B11 \*」(または「TCP/IP」)が登録されます。



#### ポイント

上の画面はネットワークアダプタが複数ある場合の例です。本製品の他にネットワークアダプタを接続していない場合は、「TCP/IP -> Logitech LWN-B11 \*」のところは「TCP/IP」とのみ表示されます。

## 1.4 本製品を取り外す場合は

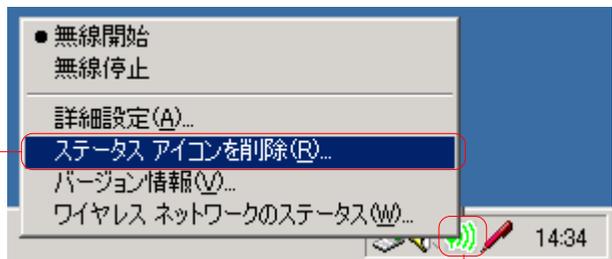
### 1.4.1 LWN-B11U の取り外し手順

USBはホットプラグに対応しているので、電源がONの状態でも本製品を取り外してもかまいません。ただし、取り外しの際は、以下の手順で行ってください。

**1**

本製品をパソコンに接続した状態でタスクバーのシステムトレイ内にある「ステーションユーティリティ」のアイコンをクリックして、表示されるメニューから「ステータスアイコンを削除」をクリックします。

2. 「ステータスアイコンを削除」をクリック

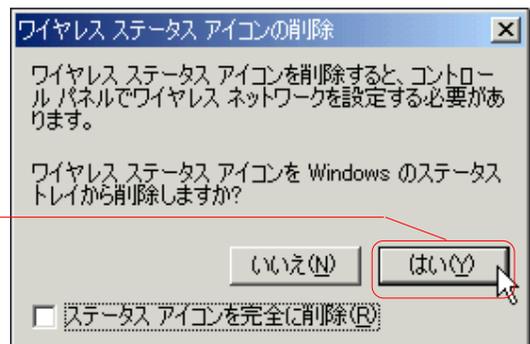


1. このアイコンをクリック

**2**

「ワイヤレスステータスアイコンの削除」画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

「はい」ボタンをクリック

**3**

USBケーブルをパソコンの側から外し、本製品を取り外します。以上で取り外しは終了です。

## 1.4.2 LWN-B11P の取り外し手順

LWN-B11Pをご使用の場合、本製品の取り外し手順はWindows Me、2000とWindows 98とでは取り外し手順が異なります。OS 別の手順を以下に示しますので、該当する部分をご参照ください。

## Windows Me、2000 の場合

Windows Me、2000では以下の手順で本製品の取り外しを行います。使用する画像はWindows 2000のものですが、選択する項目はWindows Meも同じです。

1

タスクバーのシステムトレイにPCカードのアイコンが表示されますのでこれをダブルクリックしてください。



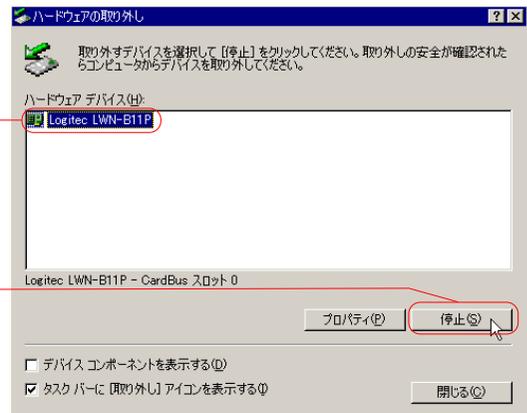
このアイコンをダブルクリック

2

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されますので「Logitec LWN-B11P」をクリックして選択状態にしてから「停止」ボタンをクリックしてください。

1.「LWN-B11P」をクリックして  
選択状態にします

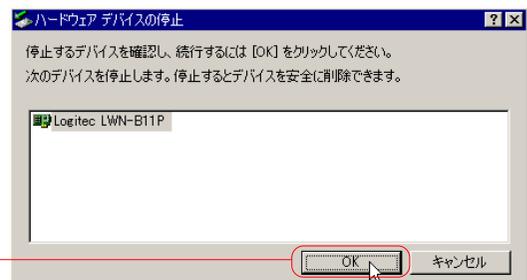
2.「停止」ボタンをクリック  
します



3

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

「OK」ボタンをクリック



4

本製品を安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックして、本製品を取り外してください。

5

再び「ハードウェアの取り外し」画面に戻りますので、「閉じる」ボタンを押してください。以上で取り外し作業は終了です。

## Windows 98 の場合

Windows 98 では以下の手順で本製品の取り外しを行います。

1

タスクバーのシステムトレイにPCカードのアイコンが表示されますのでこれをダブルクリックしてください。



このアイコンが表示されない場合は「コントロールパネル」を起動して、「PCカード(PCMCIA)」のアイコンをダブルクリックしてください。

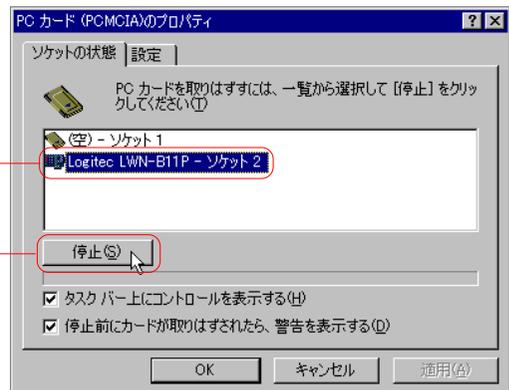
このアイコンをダブルクリック

2

「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「Logitec LWN-B11P」をクリックしてから「停止」ボタンをクリックしてください。

1.「LWN-B11P」をクリックして  
選択状態にします

2.「停止」ボタンをクリック  
します



3

「このデバイスは安全に取り外せます。」と表示されたら、「OK」ボタンを押して本製品を取り外してください。

4

「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」のウィンドウに戻りますので、「OK」ボタンをクリックしてください。以上で取り外し作業は終了です。

## 1.5 ドライバ、ユーティリティのアンインストールについて

本製品のドライバをアンインストール（削除）する場合は Windows Me、98 と Windows 2000 で異なります。ここではそれぞれ別々に説明いたしますので、ご使用の OS にあった部分をご参照ください。

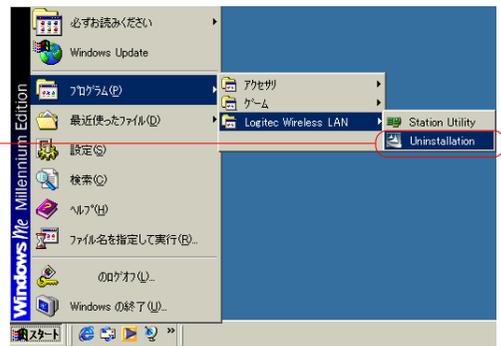
アンインストールを行うとドライバとステーションユーティリティの両方が削除されます。

### 1.5.1 Windows Me、98 の場合

1

「スタート」ボタンから「プログラム」を選択し「Logitech Wireless LAN」から「Uninstallation」をクリックします。

この項目をクリック

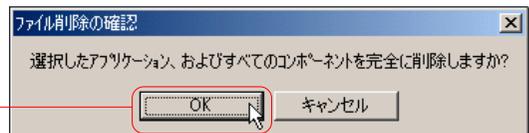


注) 右の画面は Windows Me のものですが Windows 98 でも選択する項目は同じです。

2

確認のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック

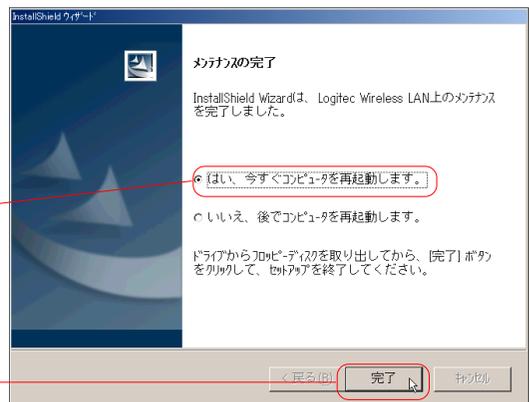


3

削除が完了すると「メンテナンスの完了」画面が表示されます。（本製品を接続していた場合は取り外してから「完了」ボタンをクリックします。）

1. 「はい、今すぐコンピュータを...」のラジオボタンが「ON ( )」になっているのを確認して、

2. 「完了」をクリック



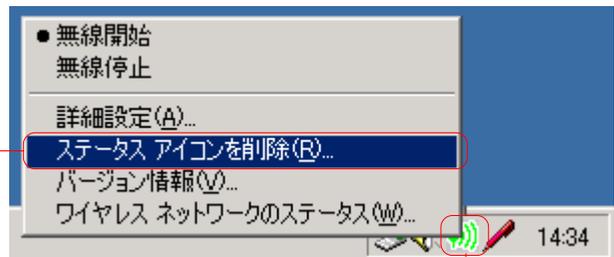
システムが再起動します。パソコンが再起動したらアンインストールは終了です。

## 1.5.2 Windows 2000 の場合

1

本製品をパソコンに接続した状態でタスクバーのシステムトレイ内にある「ステーションユーティリティ」のアイコンをクリックして、表示されるメニューから「ステータスアイコンを削除」をクリックします。

2. 「ステータスアイコンを削除」をクリック

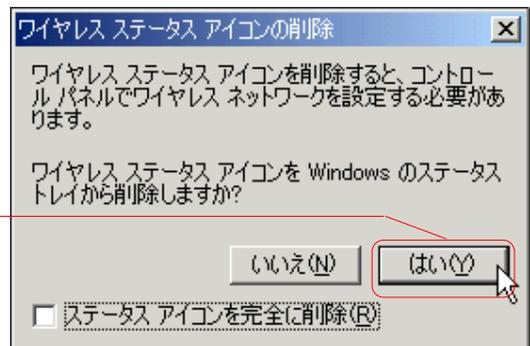


1. このアイコンをクリック

2

「ワイヤレスステータスアイコンの削除」画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

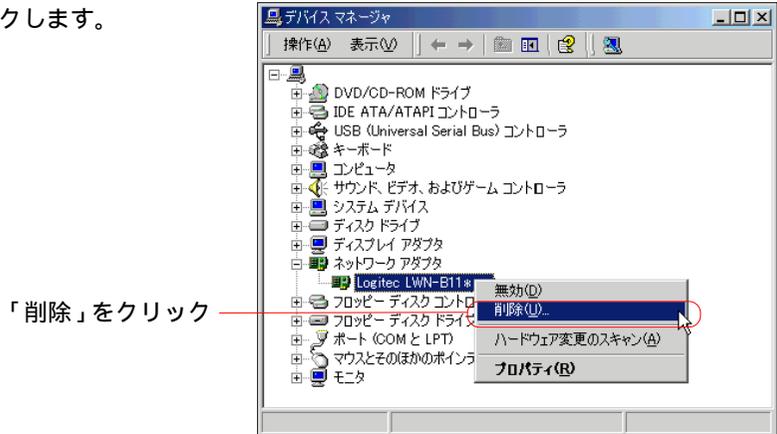
「はい」ボタンをクリック



3

システムトレイから「ステーションユーティリティ」のアイコンが削除されます。次に「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

**4** 「デバイスマネージャ」が表示されます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックして開き、「Logitech LWN-B11U」を選択し、右クリックして表示されるメニューから「削除」をクリックします。



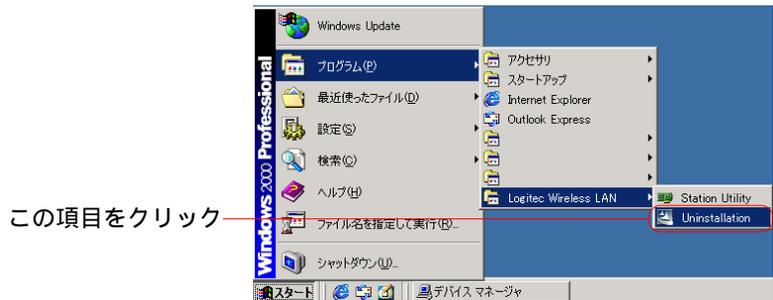
**!** ご注意

画面に表示されている LWN-B11\* の「\*」は、LWN-B11U の場合は「U」が、LWN-B11P の場合には「P」が入ります。（この後に出てくる画面も全て同じです。）

**5** 「デバイス削除の確認」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



**6** 「デバイスマネージャ」から本製品が削除されます。確認後、本製品を取り外してください。次に「スタート」ボタンから「プログラム」を選択し「Logitech Wireless LAN」から「Uninstallation」をクリックします。



7

「ファイル削除の確認」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンを  
クリック

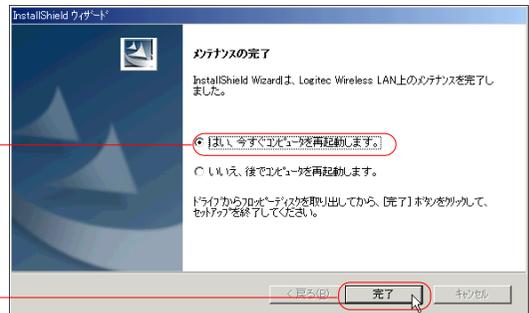


8

削除が完了すると「メンテナンスの完了」画面が表示されるので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のラジオボタンにチェック ( ) をつけて、「完了」ボタンをクリックします。

1. 「はい、今すぐコンピュータを...」  
のラジオボタンが「ON ( )」に  
なっているのを確認して、

2. 「完了」をクリック



システムが再起動します。再起動が終了したらアンインストールは終了です。

## 1.6 コンサージ機能のアンインストール（削除）について

コンサージ機能をアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

1

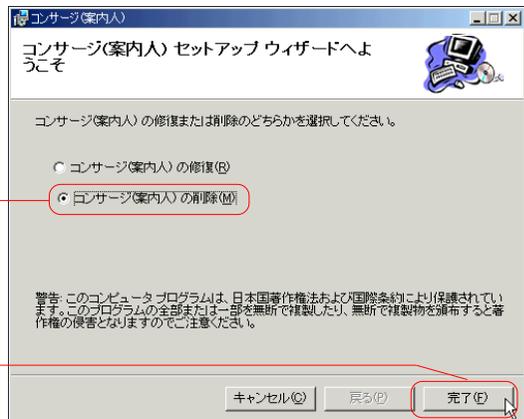
「スタート」ボタンから「プログラム」を選択し「Logitech Wireless LAN」-「コンサージ（案内人）のアンインストール」をクリックします。

2

以下の画面が表示されますので「コンサージ（案内人）の削除」のラジオボタンを「ON（）」にして「完了ボタンをクリックします。

1. 「コンサージ（案内人）の削除」のラジオボタンを「ON（）」にして、

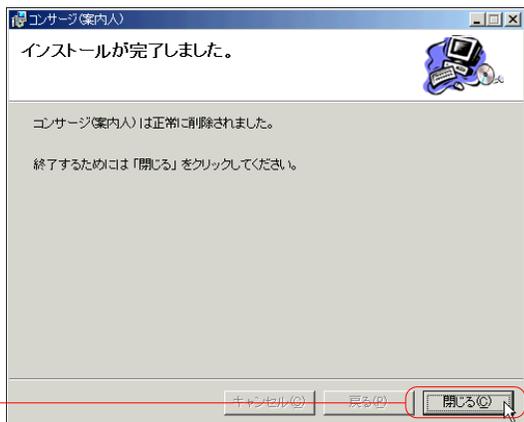
2. 「完了」をクリック



3

システムからコンサージのプログラムが削除され以下の画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。これでアンインストールは終了です。

「閉じる」ボタンをクリック



## 1.7 ドライバのバージョンアップについて

---

本製品のドライバのバージョンがあがった場合は、「1.5 アンインストールについて」で説明した手順に従い、いったんドライバをアンインストールしてから、再度ドライバをインストールして必要な設定を行ってください。

ソフトウェアのバージョンアップ情報に関しては弊社ホームページでご確認ください。

弊社ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp>

## 第2章 Windows® XP 編

ご使用の OS が Windows XP の場合、SkyLink コンサージ機能は使用できません。このマニュアルでご説明する手順に従ってドライバのインストールと設定を行ってください。

### 2.1 ドライバをインストールし、基本的な設定を行うまで

本節では無線 LAN アダプタのドライバのインストールしてパソコンに接続し、基本的な設定を行うまでの手順を説明します。ドライバのインストールは無線 LAN アダプタが接続されていない状態で行います。

1

CD-ROM をセットして最初に立ち上がる「セットアップ」画面から「最小」インストールを選択してください。

1. 「最小」を選択し



2. インストール開始」ボタンをクリック



ポイント

- ・セットアップを行わずに「終了」した場合、再度「セットアップ」画面を起動するには「マイコンピュータ」から「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き「Skylinksetup」と表示されたアイコンをダブルクリックしてください。上の画面が表示されます。
- ・セットアップの種類については付属の「無線 LAN アダプタ スタートアップガイド」(冊子形式で付属されているもの)内の「2.1 ソフトウェアバック CD-ROM の使用」をご参照ください。
- ・Windows XP でインストールを行うには管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」等）ログオンしている必要があります。

2

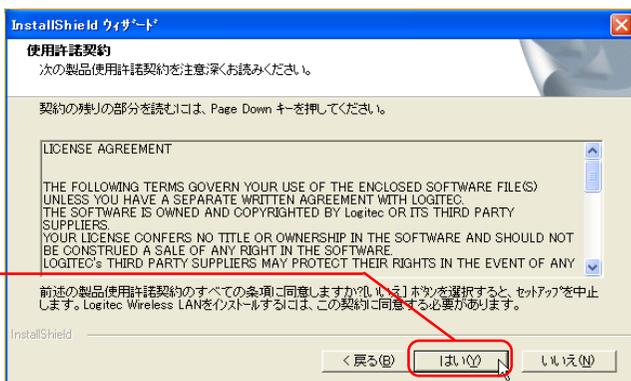
インストールウィザードが起動し、下の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



「次へ」ボタンをクリック

3

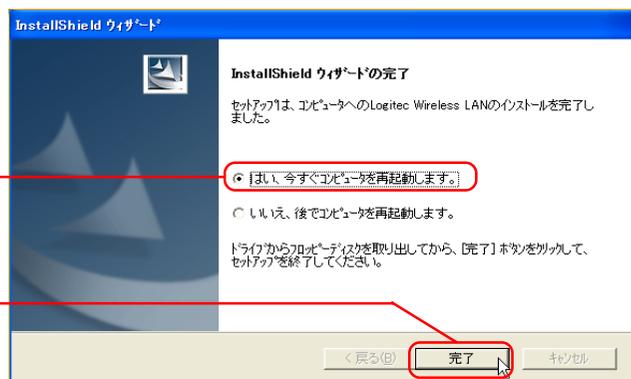
「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認して同意する場合は「はい」ボタンをクリックします。(ここで「いいえ」ボタンをクリックするとインストールが中止されます。)



内容を確認して同意する場合は  
「はい」ボタンをクリック

4

必要なファイルがシステムに転送され終了すると右の画面が表示されます。



1. 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のラジオボタンが「ON( )」になっていることを確認して、

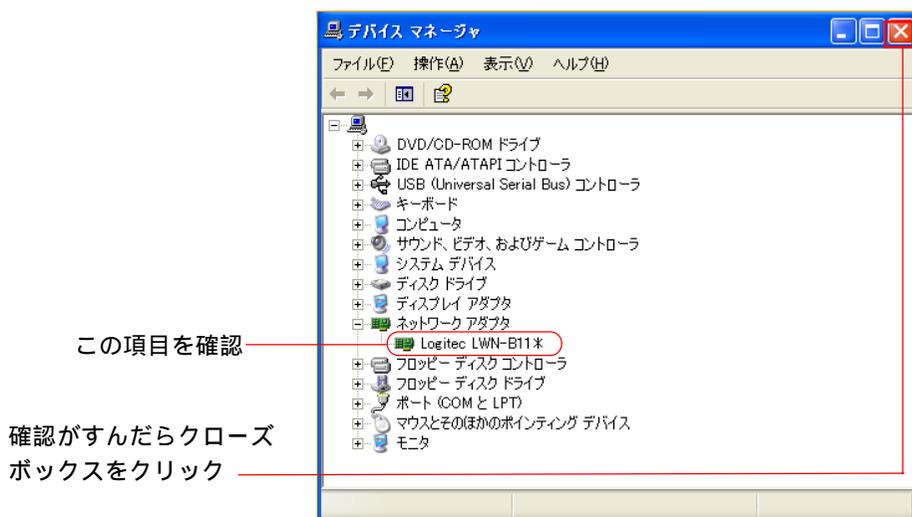
2. 「完了」ボタンをクリック

**5** コンピュータが再起動したら、無線LANアダプタをパソコンに接続してください。自動的に認識されます。(ここでユーザーは作業を行う必要はありません。)

**6** 次にインストール結果を確認します。「スタート」メニューから、「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックして、その下に「Logitech LWN-B11 \*」が表示されることを確認してください。



**7** 確認ができれば、再度コンピュータを再起動します。(ここでもう一度再起動を行わないと次以降の設定を行えません。必ず再起動して下さい。)

8

コンピュータが再起動します。  
ここまでの作業が全て正常に行われていたら、タスクバーのシステムトレイ内にワイヤレスネットワーク接続およびステーションユーティリティのアイコンが表示されます。ここでネットワーク接続のアイコンをダブルクリックします。

ステーションユーティ  
リティのアイコン



9

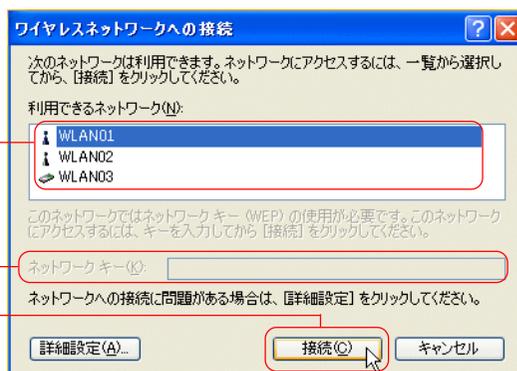
「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。「利用できるネットワーク」内にアクセスポイント又は、ステーション（無線 LAN アダプタや無線通信機能を持つ周辺機器）が表示されます。接続先を選んで「接続」ボタンをクリックします。

接続先の機器の WEP（暗号化）が有効な場合は、ネットワークキーのテキストボックスが入力できるようになります。接続先の機器と同じキーを入力してください。

WEP が無効の場合は灰色で表示され入力できません。

WEP の設定に関しては設定した管理者にお尋ねください。

1. 接続先の機器を選択
2. 必要な場合はネットワークキーを入力
3. 「接続」ボタンをクリック



ネットワークキーについては「第3章 無線 LAN 用語解説」をご参照ください。

10

設定が正しく行われたら、ステーションユーティリティのアイコンが緑色または黄色に変わります。（この色は電波状況により変化します。）



色が変化します

以上でドライバおよび無線 LAN の設定は終了です。これで無線通信が確立できない場合は「2.3 無線 LAN 通信の詳細設定について」をご参照のうえ設定を見直してください。

次節では接続先を変更する方法を説明します。

## 2.2 接続先を変更する方法

1

タスクバーのシステムトレイ内にあるスワイヤレスネットワーク接続のアイコンをダブルクリックします。



このアイコンをダブルクリック

2

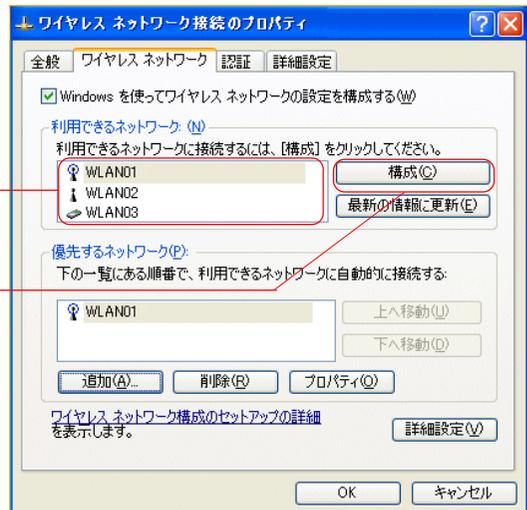
「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されるので「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



「プロパティ」ボタンをダブルクリック

3

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が「ワイヤレスネットワーク」タブが選択された状態で表示されます。「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックしてください。ここで「利用できるネットワークの一覧」から新たに接続するアクセスポイントまたはステーションを選択して「構成」ボタンをクリックします。



1. この一覧から新たな接続先をクリック

2. 「構成」ボタンをクリック

現在接続されているネットワークのアイコン 

ネットワーク名 (ESS ID) の前にあるアイコンはアクセスポイントなのか、ステーションなのかが表示されます。

## 4

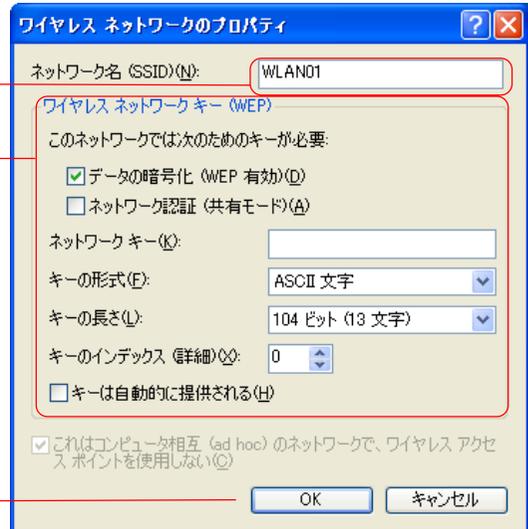
「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が表示されます。ここでは手順で選択された機器のプロパティが表示されます。

1. 選択した機器のネットワーク名(ESS ID)が入力されていることを確認します。

2. ここでWEP(暗号化)の設定をします。接続先がWEPの設定をしている場合はネットワークキーのテキストボックスに入力します。WEPに関しては設定した管理者にお問い合わせください。

ネットワークキーについては「第3章 無線LAN用語解説」をご参照ください。

3. 必要な設定をしたら「OK」ボタンをクリックします。



## ポイント

- ・「ネットワークキーのテキストボックスに入力する前に「キーの形式」とキーの長さを設定する必要があります。
- ・「キーの形式」は16進数とASCII文字(英数字)から選択します。
- ・キーの長さは「40ビット」「104ビット」から選択します。「40ビット」は「64ビット」と、「104ビット」は「128ビット」とそれぞれ互換性を持ちます。
- ・ネットワークキーは間違いなく入力してください。異なったネットワークキーを入力すると通信を確立できません。入力の際、大文字小文字は区別されるのでご注意ください。
- ・英数字で入力した場合、通信先の暗号キーと同じ文字列であっても通信が確立できない場合があります。その場合は16進数で暗号キーを作成してください。
- ・16進数で使用できる文字は半角の「0」から「9」アルファベットの「A」から「F」までです。(必ず大文字で入力してください。)
- ・キーインデックスで接続先の機器1台につき「0」から「3」の4つまでキーを設定できます。

5

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面に戻ります。設定した機器が「優先するネットワーク」に追加されたことを確認し、変更前に選択されていた機器を削除する場合はその機器を選択し「削除」ボタンを押し、「OK」をクリックします。

1. 設定した機器が追加されていることを確認し、
2. 変更前に選択していた機器を削除する場合はその機器を選択して、
3. 「削除」ボタンをクリック
4. 「OK」ボタンをクリック



### ポイント

から までの手順を繰り返せば優先するネットワークには複数台の機器を登録できます。ただし、接続先を完全に切り換えたい場合には1台のみにしてください。

以上で登録先の変更は終了です。

## 2.3 無線 LAN 通信の詳細設定について

ここでは、本製品付属のステーションユーティリティの機能および、Windows XPでの詳細な無線通信の設定機能について説明します。

### 2.3.1 ステーションユーティリティの機能について

ステーションユーティリティを表示させるには画面右下のタスクトレイ内のステーションユーティリティアイコンをダブルクリックしてください。(ユーティリティのアイコンは電波状況や設定により変化します。)



このアイコンをダブルクリック

#### Point ポイント



電波状態：かなり強い、強い (51%~100%)

電波状態：弱い (26%~50%)

電波状態：かなり弱い、(0%~25%)、AP未検出

電波状態：WEP設定ミス

電波状態：無線停止

・ユーティリティアイコンは電波状況により上記5点がタクスバー内に表示されます。



ステーションユーティリティが起動し、「ステータス」画面が表示されます。画面上部にある「ステータス」タブと「バージョン情報」タブで画面表示を切り替えます。各画面の説明は次ページ以降をご参照ください。

このタブで表示を切り替えます。



## 「ステータス」画面



- 状態** : 現在リンクされている無線 LAN 機器の MAC アドレスを表示します。ここに MAC アドレスが表示されていると、「暗号化」画面と「設定」画面で必要な設定を行って無線通信を行うことができます。
- 現在の送信速度** : 現在選択されている送信速度を表示します。電波状態により自動的に 1、2、5.5、11 メガビット / 秒が選択・表示されます。
- 現在のチャンネル** : 現在リンクされている無線 LAN の使用チャンネルを表示します。チャンネルは 1 ~ 14 チャンネルの中から選択されます。(設定画面の「チャンネル」もご参照ください。)
- スループット (バイト / 秒)** : 「Tx」現在の送信データ量を表示します。「Rx」現在の受信データ量を表示します。共に 1 秒間隔で切り替わります。
- リンククオリティ** : ノイズを考慮にいれた無線 LAN の電波環境の状態を指します。コンピュータ相互で接続されている場合は「非適応」と表示されません。
- 信号強度** : 無線 LAN に使われている電波のデータ信号の強さを示します。ノイズを考慮にいれてはなりません。コンピュータ相互で接続されている場合は「非適応」と表示されます。
- 「再検索」ボタン** : 無線開始しているにも関わらず、電波がリンクされなくなった場合にこのボタンをクリックします。再検索してもリンクされない場合は近くに、アクセスポイント又はステーションが存在していない可能性があります。
- 「無線停止」ボタン** : 電波の送信を停止する場合や再開する場合に使用します。送信が行われている場合は、「無線停止」ボタンが表示されます。送信が行われていない場合は「無線開始」ボタンに切り替わります。

### 「バージョン情報」画面



現在のネットワークドライバ、設定ユーティリティ（ステーションユーティリティ）及び製品本体のファームウェアの各バージョンを表示します。

#### Point

Windows XP で使用するステーションユーティリティは、Windows Me、98、2000 のものとは異なり、接続先の設定や WEP の設定は行いません。それらの機能は Windows XP が持ち合わせているため、そちらの方で設定を行うためです。

## 2.3.2 無線 LAN 通信の設定の確認

ここでは、Windows XP で無線 LAN 通信設定の確認をする方法を説明します。一部前の節と重複する場合がございますが必要ない場合はそのまま次の手順へお進みください。

1

タスクトレイ内のネットワーク接続のアイコンをダブルクリックしてください。



このアイコンを  
ダブルクリック

2

「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。「利用できるネットワーク」内にアクセスポイント又は、ステーション（無線 LAN アダプタや無線通信機能を持つ周辺機器）が表示されます。接続先を選んで「接続」ボタンをクリックします。

接続先の機器の WEP（暗号化）が有効な場合は、ネットワークキーのテキストボックスが入力できるようになります。接続先の機器と同じキーを入力してください。

WEP が無効の場合は灰色で表示され入力できません。

WEP の設定に関しては設定した管理者にお尋ねください。

1. 接続先の機器を選択
2. 必要な場合はネットワークキーを入力
3. 「接続」ボタンをクリック



### 参考

上の画面で「詳細設定」ボタンを押すと「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面へ移動します。詳細については手順 9 以降をご参照ください。

3

設定が正しく行われたら、ステーションユーティリティのアイコンが緑色または黄色に変わります。（この色は電波状況により変化します。）



色が変化します

**4** ネットワークに接続された状態（手順 のようにアイコンが変化した状態）でネットワーク接続のアイコンをクリックしてください。



このアイコンをダブルクリック

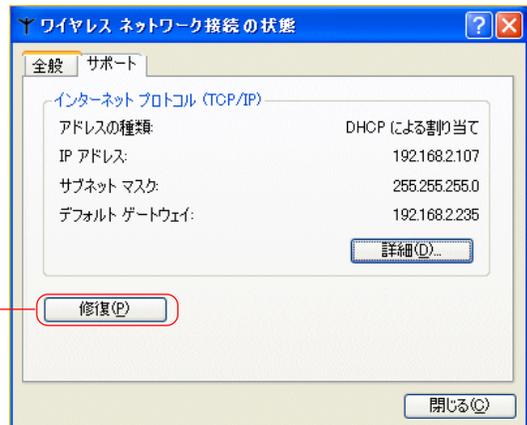
**5** 「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されますので「サポート」タブをクリックします。

「サポート」タブをクリック



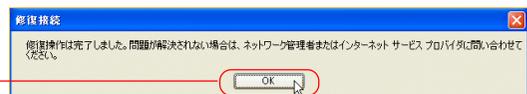
**6** 現在のインターネットプロトコルが表示されます。ここで「修復」ボタンをクリックするとDHCPサーバの設定で「IPアドレス」を割り当てます。（また、ここで「詳細」ボタンを押すと、さらに詳しいデータが表示されます。）

「修復」ボタンをクリック



**7** 修復後は以下の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリック



**8** 「全般」タブをクリックして画面を切り替えて、「プロパティ」ボタンをクリックします。

1. 「全般」タブをクリック

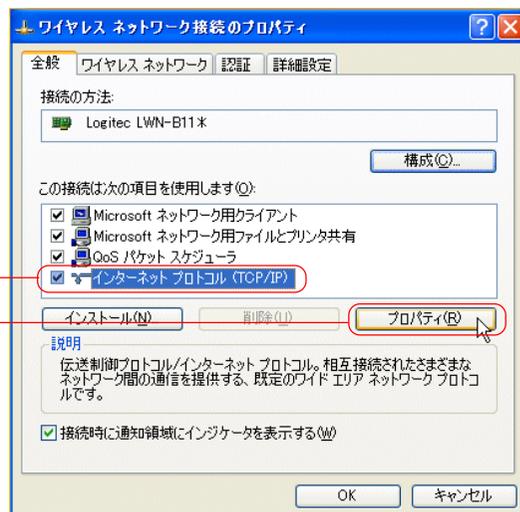
2. 「プロパティ」ボタン  
をクリック



**9** 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。「全般」タブが選択されていることを確認してください。「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のチェックボックスをチェックして、「プロパティボタン」をクリックします。

1. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」  
のチェックボックスをチェックして、

2. 「プロパティ」ボタンをクリック



#### ご注意

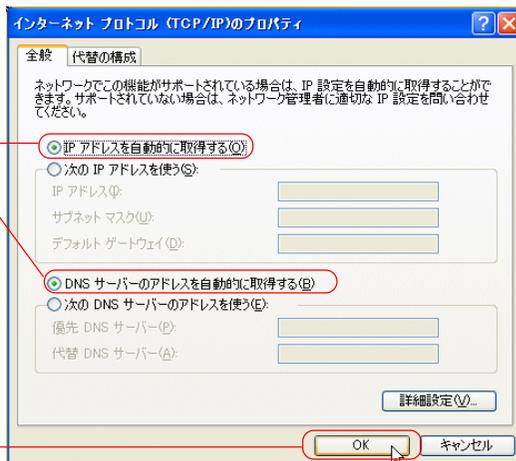
画面に表示されている LWN-B11\* の「\*」は、LWN-B11U の場合は「U」が、LWN-B11P の場合には「P」が入ります。

10

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。ここでネットワークに DHCP サーバがあるときは「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバのアドレスを自動取得する」のラジオボタンを「ON ( )」にして「OK」ボタンをクリックしてください。

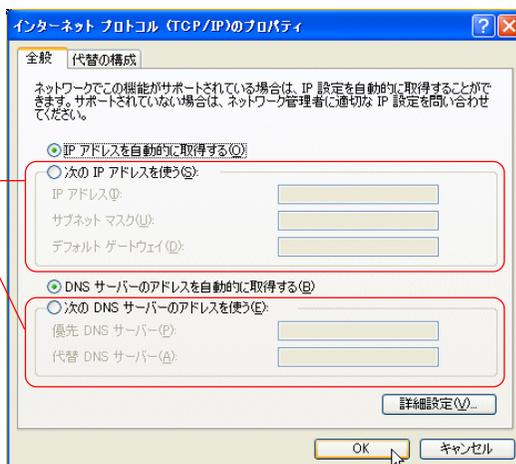
1. DHCP サーバがある場合はこの 2 つのラジオボタンを ON にして、

2. 「OK」ボタンをクリック



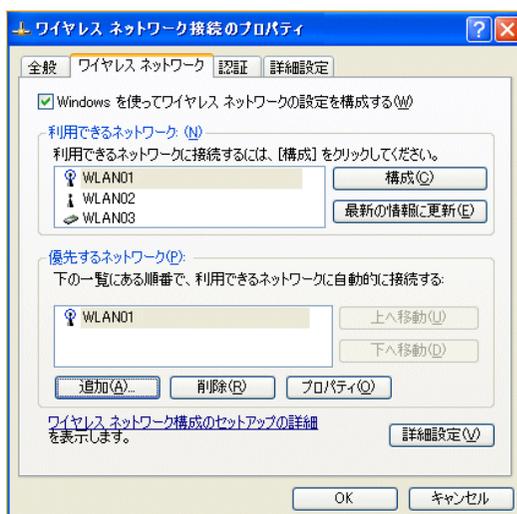
DHCP サーバ (第 3 章 無線 LAN 用語解説を参照) がいない場合は、接続先の機器のマニュアルを参照して、手で「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」および DNS サーバのアドレスを入力してください。ネットワーク管理者がいる場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。ここでの設定は接続先の機器、ネットワーク内の環境により異なります。

DHCP サーバがない場合はここに  
必要な情報を入力



11

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面に戻りますので、「ワイヤレスネットワーク」のタブをクリックします。ここで表示されている項目はそれぞれ以下の役割を持ちます。



#### 「利用できるネットワーク」

現在利用できるアクセスポイント又はステーションの一覧が表示されます。

#### 「構成」ボタン

利用できるネットワークから機器を選択して、このボタンをクリックすると「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面に移動します。「利用できるネットワーク」内で選択されているアクセスポイント又はステーションのプロパティを設定し優先するネットワークに追加する場合に利用します。

#### 「最新の情報に更新」ボタン

接続可能なネットワークの再検索を行い、「利用できるネットワーク」が最新の情報に更新されます。

#### 「優先するネットワーク」

本製品接続時に優先的に接続するアクセスポイント又はステーションが登録されます。

#### 「追加」ボタン

利用できるネットワークの一覧にない機器を、優先するネットワークに追加する場合に使用します。このボタンをクリックすると「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面に移動するので、必要な設定を全て手入力します。

#### 「削除」ボタン

「優先するネットワーク」内に登録されている機器を選択して、このボタンを押すと削除されます。

#### 「プロパティ」ボタン

「優先するネットワーク」内に登録されている機器を選択して、このボタンを押すとその機器のプロパティが表示されます。

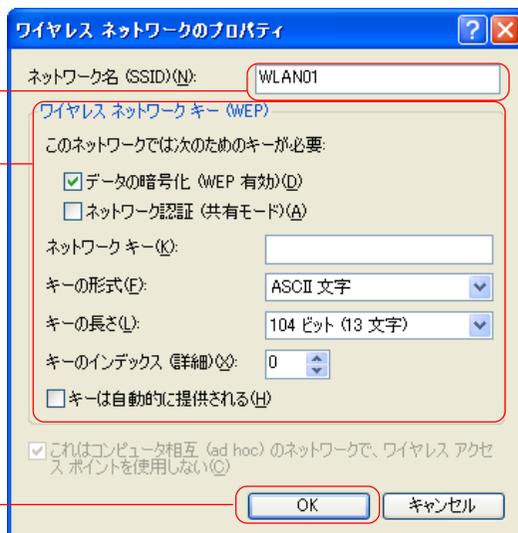
#### 「詳細設定」ボタン

アクセスするネットワークの詳細設定画面に移動します。

12

手順 で示した画面から、「構成」、「追加」または「プロパティ」ボタンをクリックすると、「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が表示されます。必要な設定を行い「OK」ボタンをクリックします。

1. ネットワーク名 (ESS ID) を確認または入力します。
2. ここで WEP (暗号化) の設定をします。接続先が WEP の設定をしている場合はネットワークキーのテキストボックスに同じ WEP (暗号) キーを入力します。WEP に関しては設定した管理者にお問い合わせください。
3. 設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。



「構成」ボタンを押して「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を設定した場合は、選択したアクセスポイントまたはステーションが接続可能になり、「優先するネットワーク」に追加されます。

「追加」ボタンを押して「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を設定した場合は、新たに追加したアクセスポイントまたはステーションが「優先するネットワーク」に登録され、次回接続時から優先的に接続されます。(この場合のみ設定の際に ESS ID の入力が必要になります。)

「プロパティ」ボタンを押して「ワイヤレスネットワークのプロパティ」を設定した場合は、選択したアクセスポイントまたはステーションの WEP 設定を変更することができます。

#### ポイント



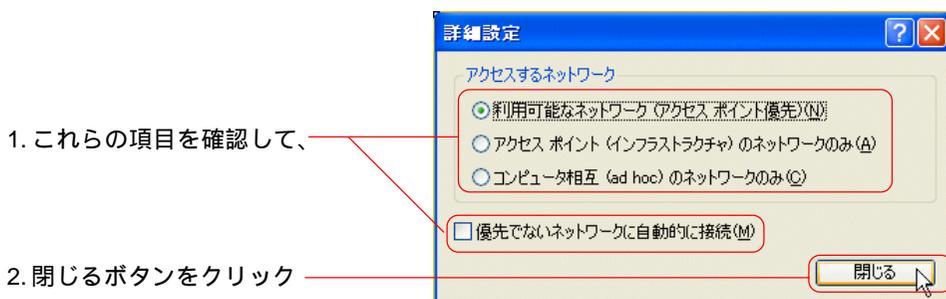
- ・「ネットワークキー」のテキストボックスに入力する前に「キーの形式」とキーの長さを設定する必要があります。
- ・「キーの形式」は 16 進数と ASCII 文字 (英数字) から選択します。
- ・キーの長さは「40 ビット」「104 ビット」から選択します。「40 ビット」は「64 ビット」と、「104 ビット」は「128 ビット」とそれぞれ互換性を持ちます。
- ・ネットワークキーは間違いなく入力してください。異なったネットワークキーを入力すると通信を確立できません。入力の際、大文字小文字は区別されるのでご注意ください。

### ポイント (続き)

- ・英数字で入力した場合、通信先の暗号キーと同じ文字列であっても通信が確立できない場合があります。その場合は16進数で暗号キーを作成してください。
- ・16進数で使用できる文字は半角の「0」から「9」アルファベットで「A」から「F」までです。(大文字小文字は区別しません。)
- ・キーインデックスで接続先の機器1台につき「0」から「3」の4つまでキーを設定できます。

13

手順 で示した画面から、「詳細設定」ボタンをクリックすると「詳細設定」画面が表示されます。表示されている3項目の中からアクセスするネットワークタイプを選択することができます。(デフォルトでは「利用可能なネットワーク(アクセスポイント優先)」が選択された状態になっています。)  
「優先でないネットワークに自動的に接続」する場合には、チェックボックスにチェックを入れて「閉じる」ボタンをクリックします。



### ポイント

通常はあまりこの設定を変更する必要はありません。

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面に戻ります。問題なければ「OK」ボタンを押します。設定された内容で再接続されます。  
以上で設定の確認は終了です。

## 2.4 本製品を取り外す場合は

「LWN-B11U」「LWN-B11P」いずれも、必ずコンピュータの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

## 2.5 アンインストールについて

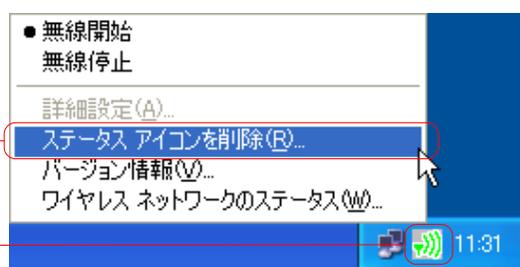
本製品のドライバをアンインストールする場合は以下の手順で行います。

**1**

本製品をパソコンに接続した状態でタスクバーのシステムトレイ内にある「ステーションユーティリティ」のアイコンをクリックして、表示されるメニューから「ステータスアイコンを削除」をクリックします。

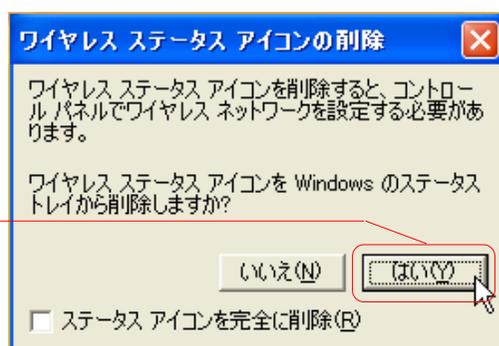
2. 「ステータスアイコンを削除」をクリック

1. このアイコンをクリック

**2**

「ワイヤレスステータスアイコンの削除」画面が表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

「はい」ボタンをクリック

**3**

システムトレイから「ステーションユーティリティ」のアイコンが削除されます。

4

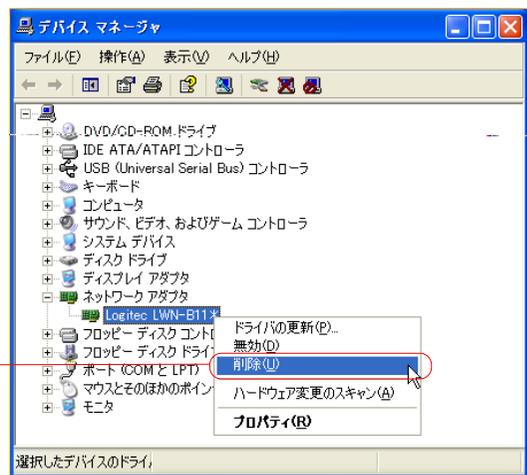
次に「デバイスマネージャ」を表示させます。

デバイスマネージャを表示させるには「スタートボタン」から「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるプルダウンメニューより「プロパティ」をクリックします。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので「ハードウェア」タブをクリックして「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

5

「デバイスマネージャ」が表示されます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックして開き、「Logitech LWN-B11 \*」を選択し、右クリックして表示されるメニューから「削除」をクリックします。

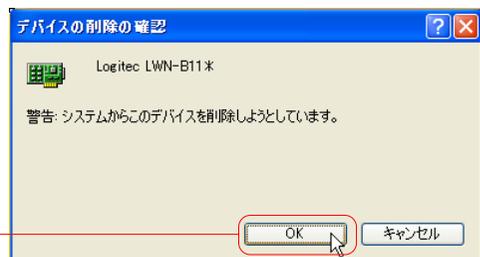
「削除」をクリック



6

「デバイス削除の確認」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリック



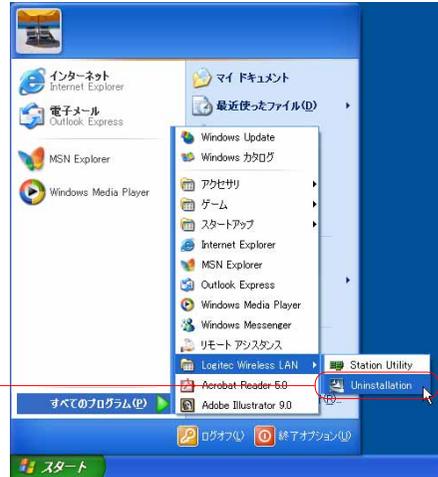
#### ご注意

画面に表示されているLWN-B11\*の「\*」は、LWN-B11Uの場合は「U」が、LWN-B11Pの場合には「P」が入ります。

7

「デバイスマネージャ」から本製品が削除されます。確認後、本製品を取り外してください。次に「スタート」ボタンから「プログラム」を選択し「Logitech Wireless LAN」から「Uninstallation」をクリックします。

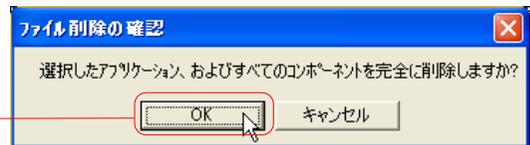
この項目をクリック



8

「ファイル削除の確認」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

「OK」ボタンを  
クリック

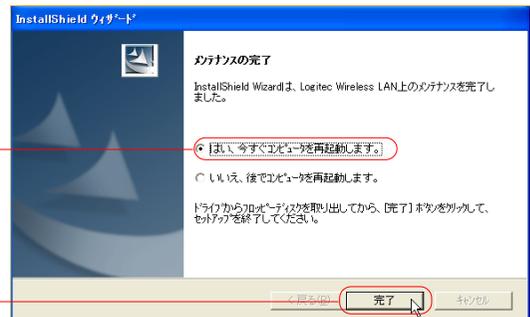


9

削除が完了すると「メンテナンスの完了」画面が表示されるので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のラジオボタンにチェック ( ) をつけて、「完了」ボタンをクリックします。

1. 「はい、今すぐコンピュータを...」  
のラジオボタンが「ON ( )」に  
なっているのを確認して、

2. 「完了」をクリック



システムが再起動します。コンピュータが再起動したらアンインストールは終了です。

## 2.6 コンサージ機能のアンインストール（削除）について

間違ってコンサージ機能をインストールしてしまった場合は、以下の手順でコンサージ機能をアンインストールしてください。

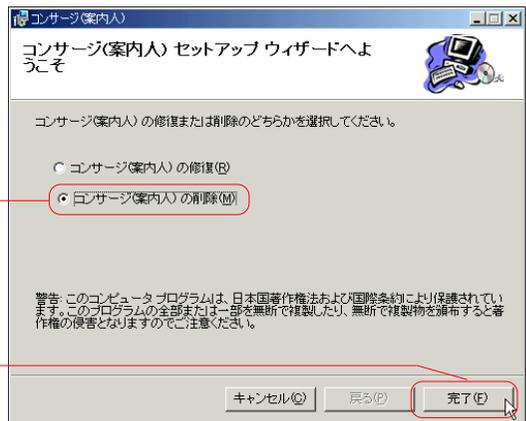
1

「スタート」ボタンから「プログラム」を選択し「Logitech Wireless LAN」-「コンサージ（案内人）のアンインストール」をクリックします。

2

以下の画面が表示されますので「コンサージ（案内人）の削除」のラジオボタンを「ON（）」にして「完了ボタンをクリックします。

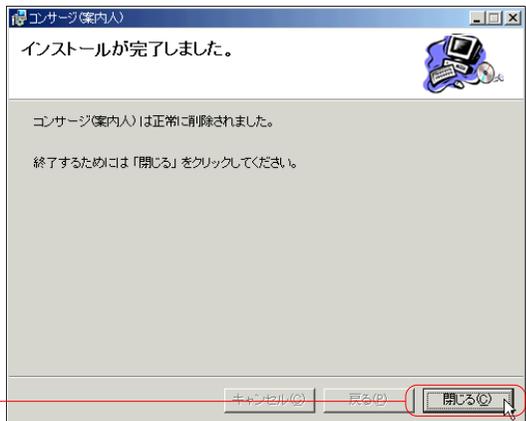
1. 「コンサージ（案内人）の削除」のラジオボタンを「ON（）」にして、



2. 「完了」をクリック

3

システムからコンサージのプログラムが削除され以下の画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。これでアンインストールは終了です。



「閉じる」ボタンをクリック

## 2.7 ドライバのバージョンアップについて

---

本製品のドライバのバージョンが上がった場合は、「2.5 アンインストールについて」で説明した手順に従い、いったんドライバをアンインストールしてから、再度ドライバをインストールして必要な設定を行ってください。

ソフトウェアのバージョンアップ情報に関しては弊社ホームページでご確認ください。

弊社ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp>

# 第3章 補足事項

## 3.1 Q&A 集

Q:アクセスポイントが見つかりません。

A:アクセスポイントを検索します。

ご使用の OS が Windows Me、98、2000 の場合は、「ステーションユーティリティの「自動検索」より、近くのアクセスポイントを検索してください。

ご使用の OS が Windows XP の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面から「最新の情報に更新」ボタンをクリックしてみてください。検索のタイミングにより、1 回では全てのアクセスポイントが検索できるとは限りません。何度か検索を実行してください。

A:遮蔽物により、電波が届きにくい場所があります。

アクセスポイントの近くに移動するか、アクセスポイントを移動させて、検索できるか試してみてください。

A:ネットワーク名 (ESS ID) が初期設定の「ANY」になっていませんか？

アクセスポイントによっては、「ANY」を拒否する場合があります。

設置した管理者に確認して、ネットワーク名 (ESS ID) を直接入力してみてください。

A:ステーションユーティリティの設定が「無線停止」になっていると見つかりません。タスクトレイのアイコンまたはステーションユーティリティの「無線開始」をクリックしてください。

Q:アクセスポイントと通信ができません。

A:アクセスポイントと本製品の暗号化 (WEP) の設定を確認してください。

本製品は「128/64bit WEP」に対応しています。

128bit WEP の場合：英数字 13 文字、16 進数 26 桁

64bit WEP の場合：英数字 5 文字、16 進数 10 桁

を正確に入力しているか、またアクセスポイントと同じ設定かを確認してください。

また、英数字で入力した場合、変換アルゴリズムの違いにより同じ英数字を入力してもうまく設定できない場合があります。その場合は16進数のWEPキーを確認して再度入力しなおしてください。

A:弊社ホームページの接続確認表で、利用可能なアクセスポイントを確認してください。

弊社ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp>

A:アクセスポイントによっては、無線 LAN アダプタの MAC アドレスで制限をしている場合があります。設置した管理者に確認して、制限が無いかどうか確認してください。

Q:通信が非常に遅いのですが？

A:近くに同じ周波数を使用しているアクセスポイントはありますか？

Windows Me、98、2000の場合は「ステーションユーティリティ」の「自動検索」を行って、同じチャンネルを使用していないか確認してください。

アクセスポイントの周波数を3チャンネル以上空けてください。(Windows XPでは自動的にチャンネルが割り振られるため、この設定は行えません。)

A:電波状態を確認してみてください。ステーションユーティリティのアイコンが黄色またはグレー表示の場合はアクセスポイントの場所や、パソコンの設置場所を変えて試してみてください。

A:電子レンジなど周波数帯が重なる電波が発生する機器が動作していませんか？そのような機器がある場合、機器を停止させて試してください。

Q:タスクトレイのアイコンでは、電波状態が良好と表示されますが、ステーションユーティリティのステータスで、リンククオリティまたは信号強度の棒グラフが表示されません。

A:コンピュータ相互接続(802.11bアドホックモード)では、電波状態が良好でも、ステーションユーティリティのステータスで、リンククオリティまたは信号強度の棒グラフは表示されませんが、問題ありません。

Q:アクセス表示ランプが消灯して通信ができません。

A:以下の点を確認してください。

・コネクタはしっかりと接続されていますか？

・ドライバは正常に動作していますか？

デバイスマネージャを開きネットワークアダプタの下の、「Logitech LWN-B11\*」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックし、正常に動作しているか確認してください。

それでも解決しない場合は、一旦本製品を抜き、暫くしてから再度接続してみてください。

Q:ローミング機能の使い方を教えてください。

A:ローミングとは、ステーション(例えばノートPC)を移動したとき、最も電波状態の良いアクセスポイントを選んで自動的に接続する機能です。この場合、全てのアクセスポイント及びステーションを同じESS ID、WEPキーにする必要があります。アクセスポイント同士が互いに干渉しやすい場合は、チャンネルを少なくとも3チャンネル以上あける必要があります。

## 3.2 無線 LAN 用語解説

# 数字

### 802.11b

IEEE (米国電気電子技術協会) が定めた無線 LAN の規格。2.4GHz 帯域の電波を利用した無線 LAN 仕様で伝送速度は、最大 11Mbps、電波の有効範囲は屋内で約 90m 程度 (見通し距離) とされていますが、さまざまな障害物などの影響により 25 ~ 50m 程度 (見通し距離) が実際の有効範囲とされています。

# A

Ad Hoc (アドホック) コンピュータ相互を参照

ASCII (アスキー)

(American Standard Code for Information Interchange) 最も標準的な米語文字コードです。アルファベットや記号をバイト (Byte) のコードで管理します。パソコン、ワープロなどの文字コードで、この ASCII コードで書かれた文章は、世界中のコンピュータで表示できます。標準の ASCII コードは 7bit、128 文字。拡張 ASCII コードでは 8bit (256 文字) が定義されている。

# B

bps (bit per second)

bit per second の略で、1 秒間あたり何ビットのデータを転送できるかを表します。

# C

Concierge (コンサージ)

マイクロソフト社の MS エージェント<sup>TM</sup> フトを基に、無線 LAN 通信を簡単にご利用できるように、案内をするロジテック社のユーティリティソフト。コンサージは案内人の意味です。用語解説や困ったときのサポート機能も含まれます。

## D

### DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

インターネットやイントラネットLAN等に一時的に接続するコンピュータに、IP アドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルです。DHCP サーバには、ゲートウェイやDNS サーバのIP アドレスや、サブネットマスク、クライアントに割り当ててもよいIPアドレスの範囲などが設定されており、LANなどの手段を使ってアクセスしてきたコンピュータにこれらの情報を提供します。クライアントが通信を終えると自動的にアドレスを回収し、他のコンピュータに割り当てます。DHCPを使うとネットワークの設定に詳しくないユーザーでも簡単にインターネットに接続することができ、また、ネットワーク管理者は多くのクライアントを容易に一元管理することができます。

### DNS (Domain Name System)

IPアドレスとホスト名の対応を管理し、クライアントからの問い合わせに応じる分散型データベースシステム。

## E

### ESSID : (Extended Service Set ID)

無線LANのアクセスポイントとアダプタ(ステーション)が通信するときに使う識別番号(ネットワーク名)。同じ識別番号を設定した装置同士だけが通信できます。その結果、同じネットワークに属さない装置とのパソコンとの混信(混線)を防ぐことが出来ます。

## H

### Host ID (ホストID)

ネットワーク上のパソコンを識別するときに用いるIPアドレスの一部分を指します。

## I

### IP インターネットプロトコルを参照

### IP address (IPアドレス)

(32-binary digit number) インターネットプロトコルアドレス。インターネット・イントラネット上でコンピュータを識別するためのアドレスで、それぞれのコンピュータには一意のIPアドレスが割り当てられます。

## L

### LAN

(Local Area Network) 同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内など限られた場所にあるコンピュータ同士を、比較的高速なデータ転送能力を持つ方法で接続したネットワーク。

### Logitec ステーションユーティリティ

ステーションユーティリティを参照

## M

### MAC Address (マックアドレス)

(Media Access Control address) ネットワークコントローラ (LAN コントローラ) 固有の物理アドレスで「00-A1-CD-65-C4-75」という風に 16 進数 12 桁で表します。また、このアドレスは全世界に必ず 1 つしか存在しません。

## S

### SNMP (Simple Network Management Protocol)

TCP / IP ネットワークにおいて、ルータやパソコン、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

### SkyLink コンサージ

コンサージを参照

## T

### TCP / IP

(Transmission Control Protocol / Internet Protocol) 米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクト DARPA NET (Defense Advanced Research Project Agency Network) で開発されたネットワークプロトコル。'80 年代のはじめにから急速に普及が進んだ。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルは IP で、トランスポート層プロトコルは TCP (Transmission Control Protocol) と UDP (User Datagram) の 2 つあります。TCP/IP プロトコルに関する規格書や運用技術情報など、すべて IETF (Internet Engineering Task Force) が発行する、RFC (Request for Comments) という文書にして配布されています。

# W

## WAN

(Wide Area Network) 通常はLANに対比して使用される言葉で、遠隔地にあるコンピュータ同士(LAN 同士)を、公衆回線網や専用線などで接続したネットワークです。

## WEP (ウェップ)

(Wireless Equivalent Privacy) IEEE 802.11 でまとめられている無線通信時のデータの暗号化規格で、暗号化処理の方式には64ビット(40ビット互換)/128ビット(104ビット互換)があります。

## WEP キー

キーとは鍵の意味。暗号化のためのコードを指します。

# あ行

## アクセスポイント (Access point)

無線LAN機能を装備したパソコンや周辺機器がインターネットや他の有線LANに接続するときに、中継を行う機器。無線LANネットワークの制御をつかさどる中心的な装置。

Windows XP及び弊社製品ユーティリティ上の表現では、一般に言われているインフラストラクチャーモードのことを指します。

## インフラストラクチャーモード (Infrastructure Mode)

インフラストラクチャーモードでは無線LANアダプタを搭載したパソコンはアクセスポイントとのみ通信を行います。このアクセスポイントを経由して、複数のPC同士が通信をする方式を指します。無線でネットワークを構築する場合にインターネットを利用するときは、通常はこの方法を利用します。

## インストール (Install)

装置またはドライバやソフトウェアを利用できるようにするために、パソコンのシステムに必要なファイルやソフトウェアなどを組み込むこと。

## イントラネット (Intranet)

会社や学校など組織内専用のネットワークで、インターネットに接続されていることもあります。

## インターネット (Internet)

IPプロトコルを使用して相互接続された世界規模のネットワークです。

## インターネットプロトコル (IP)

(Internet Protocol) ネットワーク上でのデータ転送のための1つの階層であり、上位に存在するTCPというデータ転送を保存するプロトコルとまとめてTCP/IPといわれます。

## ウェブ (WEP)

(Wireless Equivalent Privacy) IEEE 802.11 でまとめられている無線通信時のデータの暗号化規格で、暗号化処理の方式には64ビット(40ビット互換)/128ビット(104ビット互換)があります。

## ウェブキー (WEP Key)

キーとは鍵の意味。暗号化のためのコードを指します。

# か行

## ゲートウェイ (Gateway)

ネットワークにおいて、同一 LAN 上に存在しないパソコンや、別のネットワークに対するデータ通信を行なう場合、ゲートウェイと呼ばれる別のネットワークに接続している機器へデータを転送します。しかしどのゲートウェイへ送ってよいかも分からない場合は、デフォルトゲートウェイといういちばん代表的な機器へ送ることになります。通常パソコンには、デフォルトゲートウェイだけを設定しておけば、あとはそのデフォルトゲートウェイが適宜接続を行います。

## コンサージ (Concierge)

マイクロソフト社の MS エ - ジェントソ™ フトを基に、無線 LAN 通信を簡単にご利用できるように、案内をするロジテック社のユーティリティソフト。コンサージは案内人の意味です。用語解説や困ったときのサポート機能も含まれます。

## コンピュータ相互 (アドホックモード)

コンピュータ相互モードでは無線 LAN アダプタを搭載したパソコン同士のみで通信を行い、アクセスポイントが存在してもアクセスポイント経由の通信は行いません。パソコン同士など 1 対 1 でのネットワークを構築する場合に使用します。コンピュータ相互ともいいます。アドホックモードには「802.11 アドホックモード」、「アドホックモード」の 2 種類ありますが、本製品では「802.11 アドホックモード」を採用しています。

# さ行

## サブネットマスク (subnet mask)

IP アドレスはネットワークアドレス番号とホストアドレス番号の 2 つに分けられますが、そのうち、ネットワークアドレスをさらに分割したものをサブネットといいます。また IP アドレスからサブネットを導出するときに使うマスクをサブネットマスクといいます。

ホストアドレス部をさらに上位 8bit と下位 8bit などのように分割して、これをサブネット化する (サブネットィングする) ことで、同一ネットワーク上のホストの管理を容易にします。

通常は組織単位ごとやグループごとにサブネット化を行います。

この場合、IP アドレスに 255.255.255.0 という値で AND をとると (サブ) ネットワークアドレスを求めることができます。この場合の 255.255.255.0 をサブネットマスクといいます。

ステーションユーティリティ ( Station Utility )  
( Logitecステーションユーティリティ ) P C に装着されたロジテック無線 LAN クライアント機器の設定や、ネットワークの電波状態の確認を行うソフトを指します。

## た行

ドライバ ( Driver )  
パソコンに装着して使う周辺装置を動作させるために必要なプログラム。周辺装置を新たに P C に装着する場合、その装置を認識するプログラムが OS に組み込まれていない場合に、ドライバのインストールが必要になります。

## は行

プロトコル ( Protocol )  
コンピュータが通信を行う際の手順や決まりごと。

ファームウェア ( Firmware )  
回路 ( ハードウェア ) を動作させるためにハードウェアに組み込まれているプログラムのこと。

## な行

ネットワークキー  
WEP ( 暗号 ) キーのこと。暗号化のためのコードを指します。

## ま行

無線チャンネル  
無線 LAN が電波を送受信するときに利用する周波数帯域内で分割されているチャンネル。日本では 2.4GHz 帯域内で 14 チャンネルに分けられる。ただし厳密に隔てられているわけではないので、隣同士のチャンネル ( 例えば 1 チャンネルと 2 チャンネル ) を同じ場所で使用すると電波干渉が発生する場合もある。電波干渉が起こると通信速度の低下や使用不可の状態などが起こりえるので、そのような場合はチャンネルを離して使用する。

無線 LAN ( Wireless LAN )

ケーブルの代わりに赤外線や電波を利用して、データ通信をする方式

無線 LAN PC カード

PC カードタイプの無線 LAN アダプタ。PC カードスロットに挿して使う。

無線 LAN USB アダプタ

USB 接続タイプの無線 LAN アダプタ。

## ら行

ルータ ( Router )

ネットワーク上を流れるデータを他のネットワークに中継する機器です。ネットワーク層やトランスポート層の一部のプロトコルを解析して転送を行います。ネットワーク層のアドレスを見て、どの経路を通して転送すべきかを判断する経路選択機能を持ちます。また、自分の対応しているプロトコル以外のデータはすべて破棄します。複数のプロトコルに対応したルータをマルチプロトコルルータといいます。

ローミング ( Roaming )

複数の AP ( アクセスポイント ) が存在する環境で、無線 LAN カードを装着している機器 ( 多くの場合はパソコン ) が最も電波状態の良い AP を選んで、そのネットワークに自動的に接続する機能を言います。この場合、それらの AP で E S S I D と W E P キーを同じにする必要があります。ただし、それらの AP が互いに干渉しやすいほど近くにある場合は、少なくとも 3 チャンネル以上の間隔をあけチャンネルを別に設定する必要があります。